Liarsoftの嘘つきエンターティメントマガジン

月刊うそ。

USO

TOPIX

- 統治塔VSシャトーディフ　大こいのぼり大会開催！！
- 青春18禁切符発売中！お求めは新宿店窓口へ！
- 星海の車窓から ～星継駅～
- 結奈VSネオン 料理対決 勝者はどっち!?
- 黒歴史多数！？　星継駅で自分史コンテスト開催！
- 精霊（マニトゥ）とデートしてデレさせろ。デートアライブ放送中
- 大洗にピンクパンツァー小隊出動？
- 「平ぐもちゃん無双」ピピン＠で開発中

TOPIXネタ投稿募集中～　ポイントもつくよ!!



Volume. 44

Quarterly

400ニコル（税込）

次号から月刊うそが変わります

注：たぶん嘘ではないです

「会報リニューアル準備号」

新作、新グッズ色々進行中です～

cover model=因幡うさぎ～ズ&沙流江、ゴドー、瑛、三条朱鷺子　photo=忌野Lem

INDEX

SEASONLY LIARMARU

COVERGIRL



6月といえばー！/いえばー！/ジューンブライド!/
これ書いてるの5月だけどなー/梅雨に結婚なんて
マリッジブルー？/なんて不吉なッ！
てな訳で新編集体制デス/色々ご迷惑おかけしちゃう
かも？/しちゃうかも･･･/頑張るぞー!/オー！

１９０９年、４月。欧州、マルセイユ洋上学園都市。
先端的機関科学に基づいて形作られた都市。世界最高の碩学を生み出すための学園。華やかなる蒸気文明によって汚染された海の上にあって、汚染された空の下にあって、けれどもそこは、青春を謳歌する１０万人の若者たちの輝きで満ちていた。

失われた太陽を思わせる活力と熱意に溢れて。
失われた星々を思わせる美しさを煌めかせて。

――学園都市最初の転校生、ニコラ・テスラが訪れてから実に１年が過ぎていた。輝きは失せることなく、『薔薇の瞳』事件の記憶、すなわち、学園都市の空を覆った邪悪なるものの野望の記憶も学生の記憶からは徐々に薄らぎつつあった。



憤怒王
ロード・オブ・ラス。
融合式重攻撃型神体，という呼称が確認されている。



SHINING NIGHT
黄雷のガクトゥーン

something precious,something that shines bright,something everyone craves,
On that night, I could feel it with me.

──誰も彼もが羨むもの。

存在していたはずだった

輝きは瞬く。
輝きは続く。
それこそ無数に、数限りなく。

若く瑞々しい輝きたちは時に触れ合い、寄り添って、日々を繋いでいく。学生のみで自治　運営される学園都市は、大小さまざまな変化を受け入れて、緩やかに形を変えながらもその輝きをは絶えることがない。

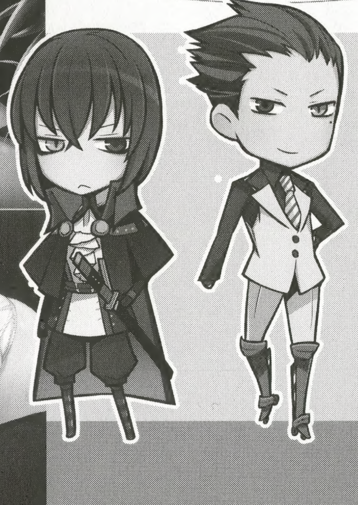
けれど、１９０８年４月某日。
彼らを見つめる静かにして幽明なる瞳があった。
灰色に覆われた空を、黒に染められた海を、そして、輝きを放つ若い命たちを見つめる鋼鉄と水とを混ぜ合わせた《硬く柔らかな瞳》が──

マルセイユ洋上学園都市

通称は学園都市。１０万学生を擁する巨大学園にして機関都市。
マルセイユ湾上に存在する人工島であり，要塞の如き防壁に囲まれている。設立は１８５０年（当時の名称は洋上ガクトゥーン市）。世界全土から自主的に素質ある若者を集めており，優秀な碩学を世界各国へ何人も輩出してきた。
基本的な修業年数は５年。研究科に進めばさらに４年が加算される。
設立者不明，運営者不明の，極めて不可思議な洋上施設であり，実質的に学生のみで運営されていたが，１９０９年４月現在ではフランス政府による運営補助が計画中。
１９０８年以前では外部に対して完全に孤立しており，マルセイユからの物資（食料・衣料・その他）を受け取る以外での交流は殆ど行われていなかった。入学したが最後，学生が外に出ることができるのは卒業時のみ，という厳しい管理体制が敷かれていた。現在では以前ほど厳しい封鎖は行われておらず，外部との交流が段階的に進められている。
学園中央に巨大な機関塔『ディフの塔』と不可思議な尖塔『統治塔』を有し，地下の大機関２基によって島全土の動力を賄っている。ほぼ完全な機関化（自動機械化）が成されている，世界初の自動化機械都市でもある。
カダス地方の帝国との繋がりを有しており，卒業生にはカダスにおける学位が与えられる。特に成績優秀な卒業生はカダスの碩学位が与えられる。





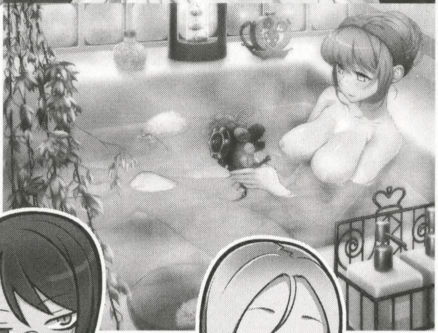


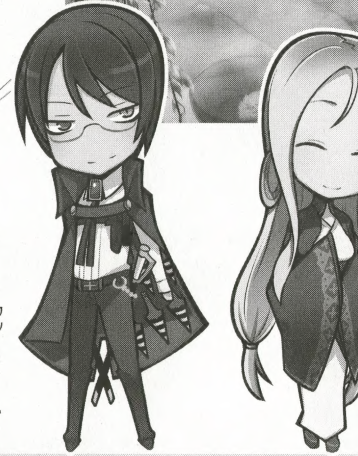
異能（アート）

別名は《ガクトゥーンの祝福》。
優秀学生に発現される特殊な能力。特定の条件によって発動する，物理法則さえ無視する超常の力である。何もないところから炎を発生させたり，手も触れずに蒸気自動車を分解したり，空中を歩行したり，等々。詳細及び原理は不明。成績優秀者の中でも選ばれた者へのみ与えられる，学園都市からの祝福であるという。
統治会メンバーは全員がこれを必ず１つ身に備えていると囁かれている。
学園に伝わる噂のひとつだが，明確な事実として認識されている。学園の公式記録にもはっきりと記載がある。
特筆すべきこととして，学生たちの多くが異能の存在を奇異に思うことがない，という不可解なものが挙げられる。学園都市に慣れた上級生だけでなく，入学して数日の新入生に至るまで，異能の存在を耳にしても目にしても……。
（『薔薇の瞳事件』以後も，この不可解は消えていない）









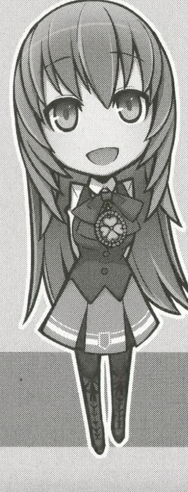
統治会

学園都市のすべてを統治，支配し，運営する学生組織。

行政及び立法，そして一部の司法を司る。成績優秀な学生たちで構成されており，メンバーのすべてが教師または臨時講師の資格を有している。本人が望めば研究会や授業の運営を行うことができる。

１９０９年現在では男性のみの最優秀学生『フラタニティ』２名と，女性のみの最優秀学生『ソロリティ』３名が並び立つことで統治会は形成されている。

強権的な支配組織であったが，１９０９年３月，ソロリティ主宰フロレンス・ナイチンゲールにより「集中しすぎた権力の分割」が提案され，段階的移行が模索されている。



SHINING NIGHT
黄雷のガクトゥーン

something precious,something that shines bright,something everyone craves,
On that night,　I could feel it with me.

今夏発売予定！

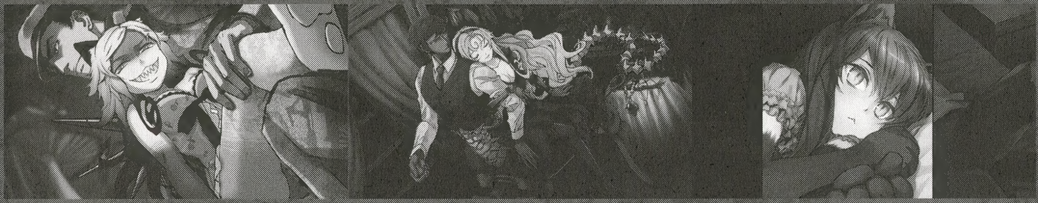


——廃墟都市ニューヨーク。

——地下世界。

——アンダーグラウンド・ニューヨーク。

——さあ、誰にも知られない彼女たちの旅を、もう一度。もう一度、だけ。



-What a beautiful memories-

紫影のソナーニル

Refrain

2013年、コンシューマー媒体にて発売予定

星継駅擾乱譚

アステライトじょうらんたん

――― 沙流江大冒険・濘々の氷 ―――

『領域侵犯機、領域侵犯機――！

貴機は当星域を侵犯中である。ただちに所属を明らかにし、我々の誘導に従い航行並びに機関停止の後、臨検を受けられたし。

繰り返す、領域侵犯機――！』

色とりどりの光の粉をまき散らしたような、星の海のただ中を遁走する艇と、それを猛追する艇たちとがあり。

ひたすら逃げる航宙艇の主操縦席。艇を操るは、額に第三の眼を具えた、セパレートスーツの麗しの美女で、セパレートというか、下手な水着より際どい露出過多の衣装はただ全裸であるよりも、彼女の肌と曲線を強調してこれでもかと。ただ小麦色のその肌は今は総毛だって、常なら艶めかしくつやめくのに。

制御盤中の送受波器からは、怒り狂ったハリセンボンのごとく尖りたった音声が、やかましい警告音を伴って耳に突き刺さるよう。サブ表示盤に荒れ狂う波形も、非常時通信波帯である事を示して、緊急事態であることを告げている。画像表示端末で目視こそできないものの、索探盤に輝滅する光点からすると、彼我間の間隔は宇宙距離単位では首筋にむこうの緊迫の息遣いがむらむら降りかかるくらい、追跡機はもうこちらの航宙艇に肉迫しているのだ。だがそんな状況など、機器で確認するまでもなく三眼の女は肌で、感覚で嗅ぎ分けている。なにしろ彼女はマンマシンインターフェイス、航宙艇と航宙士の仲立ちとなり、航宙時における各種情報の処理制御を行う為の能力が付与された存在なのだから。

『停止せよ、停止せよ――！』

「うぅ、そりゃちみっとくらいはそっちのお庭に入っちゃってるかも知ンないけどさ、なんもしないよ、通るだけだよぅ、このまま行かせておくれぇな……っ」

債鬼に見苦しく猶予乞うよう言い訳並べ立てながら、三眼の女は忙しなく操縦桿とフットペダルを操るも、その身の捌きはどこやらぎこちなく、本職の航宙士が見れば目を覆うだろうの、無理もあるまいてや。航宙情報の処理には長けていても、艇そのものを操ることに関してはあくまで補助が彼女のようなマンマシンインターフェイスの役目である。だというのに今操縦席には三眼の女独りきりの、常に航宙士に着いて操縦技術は一通り見覚えてはいても所詮は門前の小僧の経どまり、本職には及ぶべくもない。追跡機をどうにか振り切ろうとしても、臭跡捉えた猟犬よろしくがっちり張り付かれ、距離はどんどん詰められていくばかり。

『おまえいい加減マジ停まれよな……？

つか警告したから。もう撃つから。今撃つすぐ撃つぅU～～ｒａｒａｒａａ～～っ！』

「な、ちょ、ほんとに撃……ひわあああああっ」

怪鳥の如き絶叫が送受波装置から軋りあがったと見るや、追跡機から凝縮光が迸り、空間のエーテルを裂いて、外れこそしたものの航宙艇の外殻すれすれに。三眼の女の感覚としては、自分の肌の産毛が焦がされたに等しく、悲鳴も無様な、懸命に脱出航路を周辺空間に求める、算出する、とにかくどうにかしなければ！　艇と同期した感覚が情報を空間から拾い上げ、彼女の内部で超高速に処理されることを示して、額に具わった、風変りな宝珠のような第三の眼が今、流動する光と化して。

「ひあああ、うわあああ、こ、こっち……！」

探知、発見、僥倖か、近辺に小惑星の密集した宙域のあり、そこまで走り抜けば大小無数の浮遊岩塊が逃走の手助けとなってくれるやも。しかし宙域図の上では目と鼻の先ながら、三眼の女の腕では漕ぎ着ける前に追跡機に鹵獲、どころか向こうの発奮加減では凝縮光の餌食となる可能性が大きい、とってもそれでも、と三眼の女はわずかな望みに懸けて駆動系統の出力を上げる、と。追跡側は早くも彼女の意図を察知したのだろう、艇の速度をさらに上げ、相対距離の見る間に縮まりゆく。

「もうっ、もう……っ、頑張ってよねぇあんた、ああもうっ」

本来彼女が乗り込む艇は既知宇宙では有数の高速艇で、その出力をもってすれば、たとえ追跡側がどれだけ猛ろうと振り切ることなどのカタツムリの頭上飛び越すアマツバメの如しなのだが、あいにくこの艇は借り物の艇なのだ。三眼の女がどれだけ艇に呼びかけ、叱咤したところで限度があるという。が。

『てめえわかってんゾこら、どこに駆けずりこむつもりなのかくれぇとっくにな』

「あああやっぱりダメっぽいよう」

あと少し、ほんの僅かで小惑星密集地帯の縁まで近づくというのに、もう追跡機の光点が画像端末にまで現れるほど迫り来り、そして。

『エエ根性してんなオラ。おんどれ、ワイらにアステロイドチキンレース吹っかけるつもりなんやな、覚悟上等、このナインガック星系警備隊サマに向かってよ。吐いたつば呑まんとけよクラァァっ！』

「わたしそんなつもりじゃ……え？」

送受波装置からの野卑丸出しの恫喝に、三眼の女は思わず竦みそうになってから、きょとんと。各種情報装置も、彼女の感覚も伝えてきたのは、鹵獲光線の射程内まで至ったはずの追跡機が、投射もせずにただ速度をさらに上げて、その凄まじき事鼻先で赤布振られたモーモーちゃんもかくや。そらもう肉眼でも見えるくらいだ、そら向こうの船体まで見えてきた、と思いきや。三眼の女の記憶する限りでは、彼女のもといた世界の愚連隊の二輪自動車とそっくりな意味不明にけばけばしい装飾の追跡機の三機、こちらの航宙艇へ目覚ましい速さで迫って、迫るを通り越した、追い抜いた。

『どやあああ！　見晒せ、このすくたれモンのドの

ろまがぁぁぁ～～！』
「……あい？」
　きょとんとあどけなく首を傾げた三眼の女の、困惑をよそに追跡機は前方彼方に消え去った、はいいのだが。
『ヤ、ヤバ、近づきすぎてもた、アカン、もう制動が利かん、コラまずい、みな、緊急脱出やぁ……！』
　視線を送る先で、瞬いた光の、星々より明るく激しく、三つの光は、航宙艇の爆散光に他ならん。小惑星帯に接近しすぎて岩塊のいずれかに接触したならん、何を血迷ったのか知らん。
　……とまれ、とにかくとりあえず、追跡機をかわした、と言う事になる、のだろうか。なんにしても危地を抜けたと認識したとたんに、三眼の女の全身にどっと安堵の汗が湧いて、乳房の美事な谷間と言わず男の情欲に直結しそうな臀たぼと言わず雫が伝って、それ好事家なら高額で買い取ってカクテルの材にしたことだろう。三眼の女、沙流江（シャルーエ）も、カクテルの飛び切りきついところ、例えばあの、レモン、それも黄金でくるみこんだレモンで頭を強打されるような酔い心地をもたらすというおなじみの、汎銀河ウガイ薬爆弾あたりが欲しいくらいに喉が乾ききっていた。
　けれど今は一杯のカクテルを味わっている間もない一大危急なのだ彼女にとっては。だから沙流江は安堵の汗が乾くのも待たず、航宙艇を目的の星に向かってまた、ひた走らせる……。

◆　◆　◆

　六炎太陽系、第五惑星『濘々（ネイネイ）』。それが沙流江の目指していた星であり、途中、近道の為に何かと縄張りにやかましいナインガック星系の領域をかすめてしまった事による追跡劇があった他はまず何事もなく濘々へ、緑豊かを通り越し、極冠部以外は大密林に覆われた大地に降り立った彼女である。
　で今はといえば。
　異様な樹木群がこれまた異様なツタ性植物と密に絡み合い、幾重も層を為して濃淡様々を綾なす樹海のただ中、そこを重厚な地響きと珍妙な行進楽を轟かせて進行する、小高いアパートメントほどもある八足のゾウともカエルともつかぬ異星の巨獣の背中、その上に築かれたる樹木と鉄と樹脂の廃材の寄せ集めのような砦の内部、その一角の廃品再生工場のような広間の、そのまた一隅の加工用と思しき長台の上に。
　四肢を大の字に拘束されていたのであったという。二の腕や太腿の飾りバンドのみ残し、コルセットブラもビキニパンツも剥ぎ取られ仰向けに、乳房は柔らかにたわみ流れ薄桃色の乳首も剥き出し、よく手入れされ滑らかに剃毛してあるあそこも丸出しというなかなかに目出度い姿であったという。
　戸惑いと怯えのないまぜにひくひく引き攣る頬で見回す長台の周りには、直立したアヒルとオランウータンの合いの子のような姿の小柄な連中が、スクラップを組み合わせて作ったような、拷問器具としか見えない道具を手に手になにやらの準備中のあれやこれや、そのやかましいといったら。この連中、一部宙域では名高いスカベンジャーフォーク、ゴミ漁りをもっぱらとし、各星を放浪しては廃品廃材をかき集めては怪しげな道具に加工して売りさばくダンダラホイなる種族である。
　濘々に辿り着いた沙流江の、目当てのものを手に入れる為とて大樹海に分け入って、程なくしてダンダラホイの一隊と出くわしあっさり捕まっていたのだった。樹海を渡って轟く地響きと音楽がなんなのかと、ダンダラホイの移動砦とは知らずわざわざ覗きに行ってなのだから迂闊としか言いようがないのだが、沙流江の耳には彼らの行進楽がご同業、サアカス団の呼び込み曲とそっくりに響いて、つい好奇をそそられたという事情は一応はある。が好奇心は時に代償を伴い、今がまさにそれ。こんな乳もあそこも暴かれ縛られて、縛られること自体はどちらかと言えば沙流江としては好き、というより大好きなプレイなのだが相手というものが大切で、何よりプレイではすみそうにない予感がひしひしと剥き出しの肌を包むのだ。
「あの。その、あんたたち、ゴミ漁りの人たちだよ……ね？　わたしはこの通り、ゴミとかじゃ、ないよ？」
　こんな緑くらいしかない星で、なぜスカベンジャーフォークの一群が活動していたのか不明だが、沙流江の乏しい知識の限りでは、少なくとも彼らは奴隷商売には手を出していないはず……問いかけたが、どうやら言語が通じない。それでも彼女の不安を見て取ったのだろう、ダンダラホイの一人は、何やら画板に描きつけると、突き出した画というのが、手縄に繋がれた人物の上に大きく記されたバツ印。奴隷は扱わない、という意と覚ってその危機は免れたと、やや愁眉を開いた沙流江に示された次の画は、女と見える人物に、ダンダラホイが奇怪な獣をけしかけ後背位で交尾させているとしか見えない画の、単純な線ながら妙に真に迫っていた。
「……まさか、それって」
　と額に青い縦線で影を入れる沙流江の、恐れを現実化させて引き出されてきた、画の通りの奇怪なけだものの、どう見ても尋常の精神状態とは思われない目の色で涎だらだら、そしてああ、股間から突き立って粘ついた汁たらしながら震えているのは生殖器ではなかろうか、沙流江の腕より太く長い。
「無理！　そんなのわたい壊れっちゃう。あ、違う、そういうコトじゃなく」
　次にダンダラホイが見せたのは、彼らが持つ怪しげな道具で生殖器を拡張されている沙流江の姿、そうこの辺りからモデルが明確に彼女にと。で次の画は、妊娠してお腹ぽっこりの沙流江、お次はけだものと人の混血の生命体を生み落している彼女、最後はその生命体とイコールになっている高額のクレジット単位と実に判りやすいことこの上ない。奴隷商売こそ請け合っていないようだが、それ以外の人

肉売買は吝かではないようで、多角経営に乗り出すあたりは実に感心と言えよう！
「うそ……じゃない、本気なのあんたたち。……。……。だめ、厭だようそんなの、赤ちゃんいや、オキカゼと子作りするんならともかくだけど、とにかくいやああああっ」
「あ、だめ、縄きつくしないで、そうされるとわたし、反射的にうれしく、じゃなくって、やめて、堪忍だよぉっ」
　相当に愉快な運命が待ち受けていると悟った沙流江の、悲痛な叫びをよそにダンダラホイはキャッホイホイと歓声挙げて、三眼の女の、無理矢理に割り広げられた太腿の奥へと拷問器具を近づけて挿入の、直前で広間に駆け込んできたのは彼女が一心に身も心も捧げる愛し人なる少年、などいう優しげな救いを寄越すほど運命の女神は暇ではなく、かつまた現在のところ濘々の全周天十光年内にはピンチの美女を救う事を生業としている宇宙英雄の艇も通りかかってはおらず、では何者かというと。何のことはない別のダンダラホイである。ただ随分と焦っている態で、沙流江には理解できない言語で声高に喚き合っていたかとみると、拷問器具を放り出し、走り去っていくが広間の外へ、全員残らず。
　何事が生じたのやら不明だが、どうやらスカベンジャーホークの出産機械に転職しないですんだかしらと肩で息ついて、沙流江はそこでようやく移動砦を大きな振動が見舞っていることに気が付く始末の。移動砦を乗せた巨獣が通常を越えた速度で大樹海を進み出したと見え、ダンダラホイは総出で巨獣を宥めにでも向かったものか。今や広間はがらんと沙流江と廃材利用の機械のみ、というわけでもなく。台上の彼女にずいと迫ったのが件のケダモノの。ダンダラホイは逃げ出したが、わざわざ彼まで連れていきはしなかったようで、その程度の手間を惜しむ連中であり、当然沙流江の拘束などそのまんま。砦の振動はいやましに増していく一方なれど、薬物か手術か、ただ繁殖用に調整されてしまったケダモノ君には、目の前の種を植え付ける為の、柔らかな子袋の方が何より大切なのだもの。
「あ、あら、あんたはまだ残ってたんだね。でもその、交尾とかしてる場合じゃないんじゃ、これ、今…」
　なんでケダモノが聞き入れたものだろうて、沙流江など子宮のついでに付いているようなもの。だから彼は台にのしかかり、生殖器というより女体を破壊するための凶器というのが似合いの器官を早速に、粘液垂れ流しながら、
「やぁめぇてぇぇぇぇぇぇ〜〜〜つっ……」
　股間に垂れた粘液のおぞましさに、切れた堰は感情の糸のそれもあったし、身体的には恐怖に緊縮していた膀胱のそれとかいろいろと。ケダモノのだか自分のものだかもはや判然とせぬ液体で股ぐらを夥しく濡らしながら、沙流江の悲鳴はもはや人の声を越えた振動として広間の空気を哀しく割ったが、その音さえも押し潰し、呑み込んでいく轟音の、この時全てをつんざいた。
　それは、移動砦が崩壊していく破砕音だった。砦を搭載していた巨獣はこの星の原住生物であり、彼は通常ならきわめて穏和な生き物なのだが、ただしそれは発情期にある異性の匂いを嗅ぎ分けた時を除いて、という注意事項が伴う。星間博物学者の間では、濘々の巨獣の交尾を指してこのように比喩する。竜巻と落雷と大地震と津波と火山噴火の、そのすべてを足した程度のもの、と。

◆　◆　◆

「でね、でね、崩れてくダンダラホイの砦から、どうにかお服をめっけだして、逃げ出して、それから濘々の北極まで飛んでって、取ってきたンよ、ほらオキカゼ、これ、濘々の氷」
　本来のねぐらでもある涙滴型の航宙艇へ、帰還を果たした沙流江は、まず探索行の垢を落とすよりも何よりも先に、邸内の居住区まで走って寝台に臥した、少年の下へと駆け戻る。脚は不安に乱れ脚、どうやら彼の病状は、出立の時よりは悪化していないと認めてほっと落ち着く。で差し出した手は、自分の手柄を誇るではなく、少年を気遣う心のみに、そっと。
　少年、オキカゼ、沙流江と二人だけのサアカス団の、若輩ながらも座長を務めて、そして三眼の女の何よりも愛しい思い人。
　その彼がとある星に停留中のとある日に、体調の異常を訴え、床に伏してしまったから沙流江にとってはこの世の終わりの到来にも等しい一大事であった。すぐにくたばる、というような病気ではなさそうではあっても、寝台でうんうん唸るオキカゼに、沙流江はおろおろと狼狽えることしきりの、それもは始めだけ。やがて三眼の女は決然とした眸で宇宙港に飛び出していったのが二日前である。オキカゼ少年は幾らかやつれた顔で、大儀そうにむっくり身を起すと、
「濘々の氷……って、おまえ」
「うん、この辺りじゃ、熱さましには一番の薬って聞いたからさ。あ、すぐに氷枕にしててくるよ、待ってて」
　少年の額に額に合わせれば、まだ熱高い、それでもきっとこの氷が効く筈、絶対に効く、と水枕を取りに行こうとした沙流江の手から氷を取ってオキカゼは、おもむろに。口にいくつか放り込んで噛み砕いてぼりぼりの、音が高い。
「えっ、ちょっとオキカゼ？　そんな風に齧って歯、大丈夫……」
「治った」
　でも、となおも言い募る沙流江に、とにかく治ったの一点張り、三眼の女が案じて疑ったところで聞きやせぬ。オキカゼは寝台から立ち上がり、脇に膝をついた沙流江の頭を、無造作なやり方で二度三度撫でてから。
「治ったんだっての。てかおまえ、体中でろでろに汚してきやがってよ、芸子がそんなでどうすんだ。

さっさと流してこい」
　まるで髪のごみでも払うような、素っ気ない手つきの中に、沙流江は感じ取って、へたりと臀を落として座り込む、報われぬ苦労に脱力して――などであるものか。オキカゼの手から沙流江の胸中を満たしたものは、温かい、いや、熱いくらいの――歓喜、安堵、誇らしさ。すべてが報われていた。否、報われるも何も、少年が快復してくれたことが何より沙流江には、嬉しくって。
「俺はホントに治ったからさ……有難いぜ、ルーエ、お前のおかげだ」
　背を向けたまま、縞の寝巻を一張羅の乗馬服に着替えだした少年の言葉には、熱さは喉元からあふれ出し、沙流江はついに抱き付いて、そしてやっとわあわあ泣き始めたのだった。この麗しい女が、生のままの感情をむき出しにして、恥も外聞もなく。
「こ、怖かった。ホントはすごく不安で……っ。あんたが死んじゃうかって。どうしたらって。怖かったよ、おまわりさんに追っかけられたし、なんか変なのに交尾されそうになっちゃったし……あ、でも安心して、先っちょだって入れられてないから！　あたしはあんただけのあたしだから……っ、信じて、ねえ、本当だよぅ……っ」
「いやま、疑っちゃいねえが……ってルーエ、こら鼻水すりつけんな、これ一張羅なんだからよっ」
　泣くわ抱き締めて離さないわそのまま寝台に押し倒してきてあのおっかなかったのを忘れさせて抱いてと着たばかり乗馬服のズボンを引きずり下ろして股座に顔を埋めてくるわの沙流江の、肉体と熱気に圧倒されつつオキカゼは、内心そっと独りごちた。
（言えねえよなあ。こいつにゃ内緒で買い食いして、そんで食あたりしただけだったなんて、今さらさ……）
　――まだオキカゼと沙流江が、大地上の『駅』から宇宙に飛び出して程なかった頃、二人が少しずつ宙間世界の驚異に慣れ始めていった頃の一挿話である。

――沙流江大冒険・濘々の氷・了――





過去のFC会報「月刊うそ」や、数々の販促物、
同人誌等に掲載された、希の短編小説を収録。

●『夢』（霞外籠逗留記・紅殻町博物誌）

●『幻』（信天翁航海録、花散峪山人考、星継駅蒐集箱）

二冊同時に発売中！

——書き下ろし短編・イラスト有り。

——総天然色表紙、壱弐巻計四百頁以上。

著作　希

挿画　めいびい（霞外籠逗留記）

天原埜乃（紅殻町博物誌）

こめ（信天翁航海録）

酔花（花散峪山人考）

浦辺克斗（星継駅蒐集箱）

希文堂掌篇集（きぶんどうしょうへんしゅう）
～レイルソフト拾遺～

ぎっしり、
みっしり、
ずっしりりたっぷり。





——希の文、
お届けいたします。



魔都拳侠傳 マスクド上海

■マスクド上海未公開ファイル

このマスクドシャンハイ未公開ファイルは、俺が魔都上海で遭遇した事件の中で、本編では様々な事情で取り上げられなかったものについて、詳しく紹介していこうというコーナーだ。

今回取り上げるのは“マスクドシャンハイ暗殺計画”である。

そう、暗殺計画！　人類の歴史は暗殺の歴史である―――　とまで言うと頭がおかしい人だが、暗殺が歴史の中で大きな転換点となってきたのは事実である。その対象は政治家、軍人、宗教家などなど多岐にわたる。１人殺すだけで状況が一変するなら安いものだ。そういう意味では俺みたいな変身ヒーローも暗殺の対象になる――――　って、自分でヒーローっていうのもどうかと思うが。とにかく今回のレポートでは、悪仙人どもによって行われた「マスクドシャンハイ暗殺計画」の紹介をしよう。俺が根っからのフェミニストだということを利用した、恐るべき計画だ。心して読んで欲しい。

そしてコーナーの最後では、そんなことよりも驚嘆すべき事実が明らかになる。是非最後まで付き合っていただきたい！

▼ロリは舞い降りた！

まず初めに事件の発端から書くべきなのだろうが、実はこの出来事、正確にいつ頃発生したのかさっぱりわからない。わからないが、いつの間にかそいつが俺の事務所にあらわれて、あらゆる機会を捉えて俺を殺そうとしていたのは事実である。

そいつの名は“客人仙人”。タマの悪仙人データブックには北欧出身の仙人と記載されている。北欧の仙人……？　なぜそんなところに仙人がいるのか分からないが、実際にいるんだから仕方がない。どのような姿をしているかは、左の写真を見ていただきたい。確かに北欧だ。こんな姿をした幼女がいつの間にか事務所に出現し、何食わぬ顔で俺たちと共同生活を送る客人仙人！　それだけなら座敷童みたいなものなんで別にいいのだが、困ったことに、こいつはことあるごとに俺の命を狙うのだ！　階段から突き落とそうとしたり寝てるあいだに濡れ雑巾を顔にかけたりと、仙人にしては微妙に地味なやり方なのがアレなのだが……　しかし命を狙ってくることにはかわりがない。幼女に手を挙げるのは気が咎めるが、力ずくでも排除しようとした俺の前に、

同居しているもう一人の幼女……　じゃないや、相棒のヘレーネと、客人仙人の区別がつかないのだ。なぜかって？　左の写真を良く見ていただきたい。ヘレーネも客人仙人も両者共に金髪幼女なのだ！　これでは区別がつくはずがない！

ヘレーネ「え、そこでしか認識してないの！？」

すまんが外人の顔はあんまり見分けがつかないのだ。

同居しているどちらかが暗殺幼女……　だがいったいどっちだか分からない！　こうなったらいっそ２人とも―――　と暗黒面に落ちそうになった時に現れたのが奴だった。規制強化が進む冬の時代を幼さ求めてひとりさすらう孤独の拳侠、独孤求幼その人だ！

▼共闘、独孤求幼！

「幼女のことなら俺に任せろっ！」

頼んでないのに出現した彼は格好良く宣言すると、おもむろに服を脱ぎ出した。より巨大な敵に対して、かつての敵と味方が共闘するというのは燃えるシチュエーションではあるが、しかしこの場合はどちらが巨大な敵だかわからない。というか、客観的にみたら倒すべきは客人仙人ではなく独孤求幼のような気もするのだが……

ともかく脱ぎだした独孤求幼は、客人仙人に対して右のようなアプローチを試みたのだ！

いや、これだけではない。鉄拳制裁後も懲りずにセクハラを行う独孤求幼に、客人仙人の心はぽっきりと折れた。

▼ロリは飛び立った

独孤求幼出現から２日後———

度重なるセクハラに耐えかねた客人仙人は、俺の前で土下座して封印を懇願する。あんな奴にセクハラを受けるくらいなら封印された方がマシ、ということらしい。そろそろ幼女がなんかする度に復活する独孤求幼にも困ってたので、俺は客人仙人を封印し、事件は無事解決したのだった———。

▼最後の挨拶

さて。長い間続いてきたこの未公開ファイルだが、残念ながら今回で最終回となった。唐突に終わってしまって俺も驚いているが、決まってしまったものは仕方がない。縁があれば、またどこかで逢うこともあるだろう。その時までごきげんよう。

▼今回登場の仙人

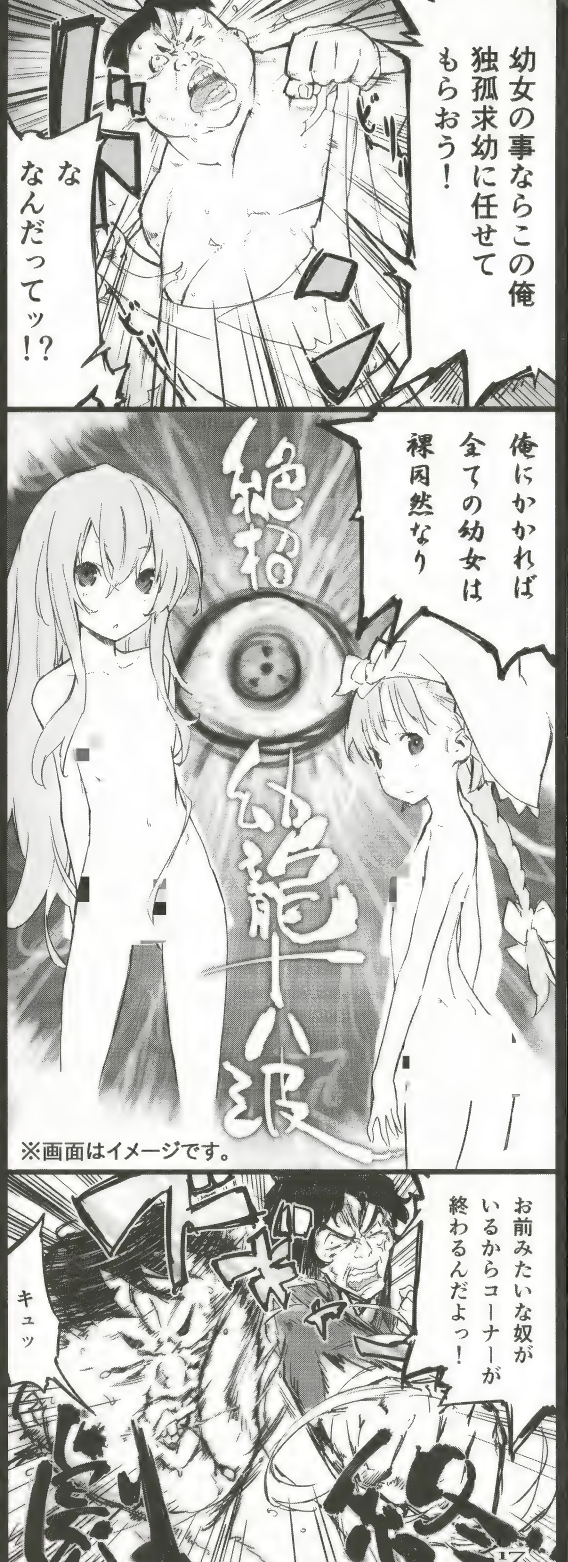
○仙人名「客人仙人」

・推定仙人パワー：17万パワー

・特殊能力：他人の家に勝手に侵入する。最初は違和感があるが、だんだんと家人のように思えてくる。スウェーデン人の金髪ロリータ！

※今回登場の仙人は、P.N：アンドリューサンからいただきました。
アンドリューさんには５ｐ差し上げます。
また事件の傾向は「エロ」が一番多かったです。
投稿してくださった方には３ｐ差し上げます。

ありがとうございました。



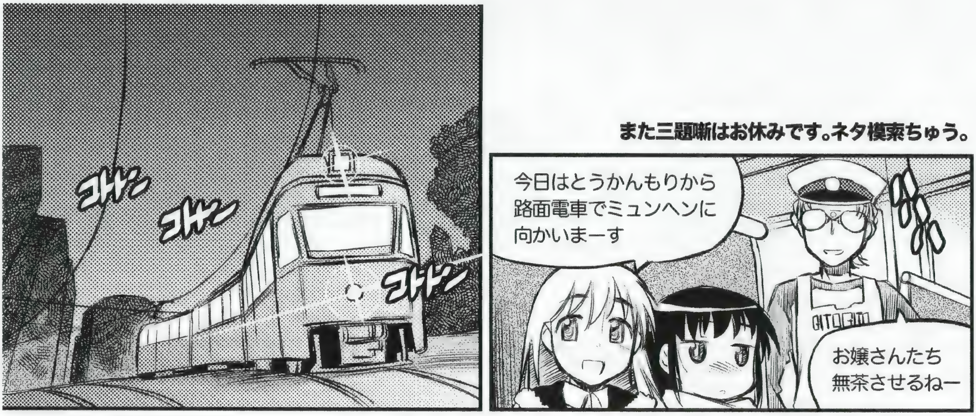


ぐびび
蔵女ちゃんっ
落ち着いて
落ち着いてっ
ツカーン!
ところで、
※ドイツではお代を
大目に払って,お釣りを
チップ代わりにします
Stimmt so...
あ、お釣りは
結構で――
ガ、
かっこいい・・・!
そういうお店もあります
ごちそうさまー
おお
訪れたのは11月末のこと。
まだまだ気が早いですが、
そこかしこでクリスマス市の
屋台が並び始めていました。
らいだーらいだー
グリューヴァインおいしい…
フーフー
グリューヴァイン(Glühwein)は
スパイスと果物を加え温めた
ホットワイン。
クリスマスマーケット
では長靴形の小さな
陶器で出されたり。
買いそびれましたが。
お。
もしもし
蔵女ですよ?
けぷ
ああ、よかつた
つながつた
クゥさんが厄介
可哀相だから
早く帰って
きたげて・・・!
あとお土産は
四人で遊べる
ボードゲームで
ビールは
いらない
任せよ
次回、ボードゲーム編に
登場するゲームをあてよう!
・・・
くらめちゃんも
のむ?
Seven-Bridge?

●ＦＣ会報『月刊うそ。44号』本文訂正のお知らせ●

当方の手違いで、18ページと19ページが入れ替わって掲載されております。
お手数ですが、正しい順序で載っているこちらの訂正紙を、会報の当該ページに挟んでお読みください。
この度は、ご迷惑をおかけして本当に申し訳ございません。

また三題噺はお休みです。ネタ模索ちゅう。



München

蔵女とエマの ミュンヘンぶらり旅 はーじまーるよー

Seven-Bridge?

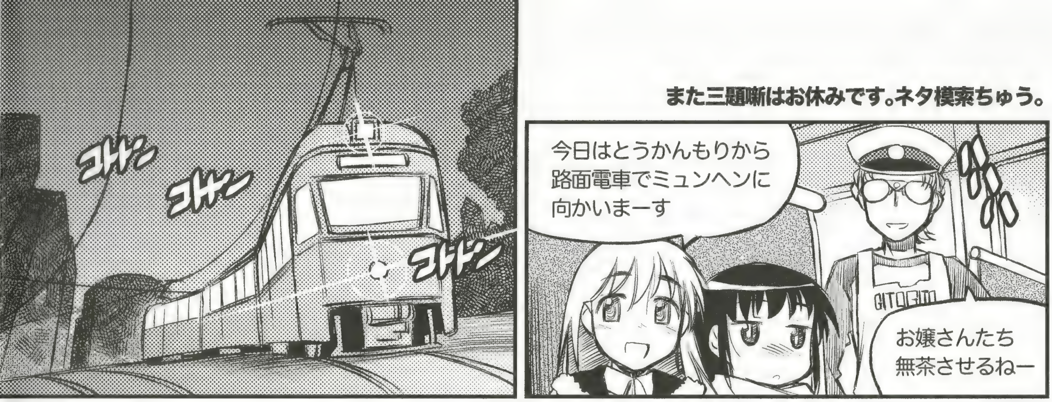


※ Grüß Gottは南ドイツの挨拶



ぐび
ッカ―!
蔵女ちゃんっ
落ち着いて
落ち着いてっ
ところで、
※ドイツではお代を
大目に払って,お釣りを
チップ代わりにします
Stimmt so...
あ,お釣りは
結構で・・・
が、
かっこいい・・・!
そういうお店もあります
Seven-Bridge?
ごちそうさまー
おお
訪れたのは11月末のこと。
まだまだ気が早いですが、
そこかしこでクリスマス市の
屋台が並び始めていました。
グリューヴァイン
おいしい…
ういだー
ういだー
フワァー
グリューヴァイン(Glühwein)は
スパイスと果物を加え温めた
ホットワイン。
クリスマスマーケット
では長靴形の小さな
陶器で出されたり。
買いそびれましたが。
おぉ。
もしもし
蔵女ですよ?
けぷ
ああ、よかった
つながった
クゥさんが厄介
可哀相だから
早く帰って
きたげて・・・!
あとお土産は
四人で遊べる
ボードゲームで
ビールは
いらない
任せよ
次回、ボードゲーム編に
登場するゲームをあてよう!
・・・
くらめちゃんも
のむ?

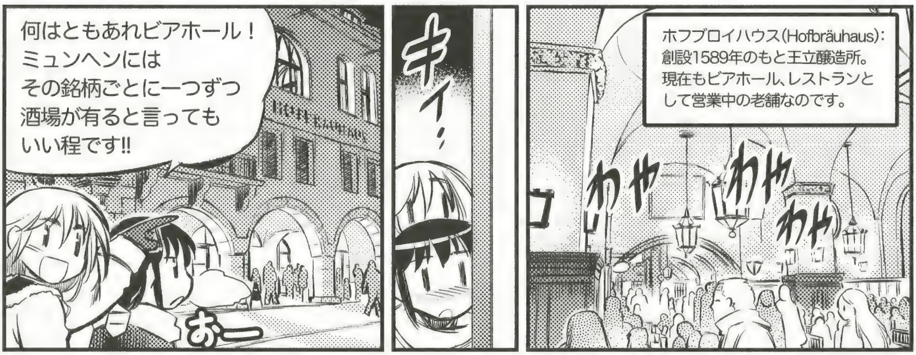
また三題噺はお休みです。ネタ模索ちゅう。



München

蔵女とエマの ミュンヘンぶらり旅 はーじまーるよー

Seven-Bridge?





※ Grüß Gottは南ドイツの挨拶

九星時報

第4回 ☆☆☆



雨の日＋かたつむり（PN ＝ カナエ一号）/おめめグルグルな照れ顔（PN ＝ ニコ），フリフリドレス阿野（PN ＝ 竜宮）/まつみゆ新婚ラブラブ生活（PN ＝ なぎまり）/一周年記念パーティ（PN ＝ サハラ PN ＝ 悠季）

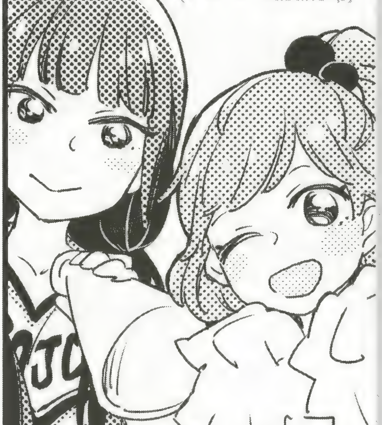

羽美沙紗音七の水着姿
（PN ＝ 如月II ）
髪型換え愛来陽香
（PN ＝ グアゼ）
腕枕結奈比奈
（PN ＝ ナカ PN ＝ 九夏）

1周年ありがとうございました！
ユリトピア！



サチめぐ＆結奈プリクラ
（ＰＮ ＝ Tagosaku）

チアガール
（ＰＮ ＝ masukenp）



だいぶ過ぎたけど、発売一周年だったねユリトピア！ 九星時報第４回。今回も沢山の投稿ありがとうございました。では一枚目の紹介をサチさん、恵さん、お願いします。

■ＰＮ＝カナエ一号さん
屋上の百合霊さん、一周年ちょっとおめでとうございます！ 増ページも可能！ ということで勢いに乗った記念展開希望です！

サチ「お祝いありがとうございます」
恵「わたしも呪うよ！ じゃなくて祝うよ！」
サチ「今回は勢いに乗っていつもの２倍！ ４ページでお送りします」
恵「質問にもたっぷり答えちゃうよ」
サチ「でも、まずはお祝いメッセージから……」

■ＰＮ＝やまだ（仮）さん
屋上の百合霊さん発売一周年おめでとうございます！ これからもさらなるユリトピアの発展を願っております。華麗に！

羽美「華麗に！」
サチ＆恵「華麗に！」

■ＰＮ＝みぐらさん
ビバユリトピア♪　みんな素敵なファッションで眼福でした！
それにしても、もう販売から１年なんですね…。

サチ「これは前の記事への感想ね。色んな服が着られて楽しかった」
恵「かいなむつきさんや悠季さんからも、アイドル服が眼福でしたってメッセージが届いてました。ありがとう！」
サチ「それにしても本当に１年ってあっという間ね……」

■ＰＮ＝ニコさん
発売から一周年過ぎ頃……屋上の百合霊さんのファンディスクができたらいいなあ、と思う日々です。お願い、えらい人！

恵「お願いっ！」
サチ「みんなの声は充分届いていると思うから、あとは信じるしかないわね」
恵「なにか動きがあれば告知するからよろしくね！」
サチ「さて、ここからは質問投稿にお答えします」
恵「スペースのある限りぎっしり答えちゃうよー」

■ＰＮ＝シキさん
早いものでもう１年…先輩組の卒業を考えると嬉しくもあり寂しくもあり。そこでシロジョならではの卒業に関するイベントや風習などはありますか？

茉莉「一番特徴的なのは正装かな。卒業式は袴を着てやるんだ」
美夕「地元の風物詩として新聞が撮影にくるくらいだしね。茉莉、意外と似合ってた」
茉莉「意外とか、ひどいな」
美紀「ふふ、ちゃんと似合ってたよ。風習は部活や委員会独自のものが多いみたい」
美夕「陸上部だと、追出しリレーね」
茉莉「うん、学園一周障害走。在校生が考えたコースを走る卒業生とのガチ勝負！」
美紀「今年も盛り上がってたね」
美夕「まさか二人三脚を混ぜてくるとはね。委員は？」
美紀「最後に委員会室を片付けるくらいかな。風紀委員は正門櫓で締太鼓を叩いたりするみたい」
茉莉「太鼓かぁ。一年の頃叩いたなぁ」
美夕「ああ、遅刻の罰ね」
茉莉「けっこう楽しかったよ」

■ＰＮ＝Tagosaku さん
百合霊のお二人へ。「二人の記念日」って幾つ位ありますか？

恵「大きなのは３つ。小さなのは３６ありまーす」
結奈「そんなに？」
恵「告白記念日と恵とサチさんの誕生日が大きなの３つ」
サチ「小さなのは色々あって。そうね、例えば血文字の日」
結奈「えっ！」
サチ「恵が初めて血文字を使った日ね。白い雪に素敵なメッセージを書いてくれたの」
恵「ロマンチックでしょ？」
結奈「う、うん」
恵「他にもね、ラップ音記念日とか、初デートの日とか、正門感謝の――」
結奈「ま、待って、まだまだ質問あるから今度ね」

■ＰＮ＝ユリトピアン３世さん
ポッキーゲームで誰が強いか妄想が止まりません。全く動じない音七さんや、開始前からなんだよも一状態の阿野さんなど…。何人か趣旨を間違って積極的にキスに行こうとする人がいそうですが。

羽美「さて、と」

沙紗「何おもむろにポッキー取り出してんだ」
羽美「最強の友情で結ばれたわたし達なら、ポッキーゲームでも最強だよね！」
沙紗「いや、意味わかんない」
羽美「ゲーム上手い音七もいるしさ」
音七「パーティーゲームはなぁ……」
羽美「いいじゃんやろうよ～。はい音七はこっち、沙紗はこれ」
沙紗「ん？ おい、３人でやるのか!?」
羽美「当然じゃん！ ではトライアングルポッキースタート！」
沙紗「んっ……（うわっ、顔近い）」
音七（これ、どうすれば勝ちだったっけ……）
羽美「……ふはひもも、はんはろうお」
沙紗（羽美、なに言ってるかわかんないし、近い……なんか動けない。どうしよう……どうしよう……）

■ＰＮ＝ひらりんの母さん
結奈と比奈、それぞれのお父さん達ってどんな方々なのでしょうか？ 仕事とか、看護士をやってばりばりの奥様や、年頃の娘達に対する態度とか…。よろしくお願いします！

結奈「父は医療機会社の社員です。出張で家にいない事が多いかな」
阿野「修理とか点検やってるんだよね～。技術者っぽいお父さん」
結奈「機械いじりは好きね」
阿野「比奈ちゃんのお父さんは確か……」
比奈「ん、高速道路を管理する会社の人。運転上手いよ」
結奈「よく笑うよね」
比奈「ん、わっはっは」
結奈「父さんたちは、私達が年頃になってから距離を置くようにしてるみたい」
比奈「嫌われたくないって。変なの」
阿野「ああ、お父さんって大変だね～」

■ＰＮ=K子さん
愛来さんはアイス好きとのことですが、具体的にどんなアイスが好みなのでしょうか。ネタに走った物にチャレンジとかしちゃう方だったりしますか。よろしくお願いします。

愛来「カップアイスをよく食べるな。考え事しながら食べるのに向いているからな。ネタ系は味噌味とかまでなら容認できる」
陽香「オレはコーンアイス好きだぜ」
愛来「トリプルがロックなんだろ、緊張感あって」
陽香「３つ選ぶのも楽しいしな。変わり種っていやぁこの前の、醤油せんべいクラッシュをかけたアイスとかさ」
愛来「あれはウェハースの代用として優秀だったな。面白い体験だった。また行こうか」
陽香「お、あ、それ、デート？」
愛来「ああ、デートだ」
陽香「やったぜ！」

■ＰＮ＝もっちさん
うそっ…私のジャガイモ皮むき、遅すぎ…？

比奈「ゆっくり丁寧にやってれば、だんだん早くなるって、むかし結奈ねぇに言われた」
結奈「まあ、慣れよね」
比奈「ん、慣れたら早くなった」

■ＰＮ＝眞さん
風紀委員の門番、有遊さんに質問です。夏合宿中に、結奈さんに風紀委員にならないかと誘って断られましたが、まだ結奈さんのこと諦めていないんでしょうか。

有遊「ああ、諦めた。委員じゃなくても仕事は頼めるからな」
桐「それは諦めたに入るの？」
月代「そう言えば、行事準備で遠見さんを見かける事が増えたわね」
桐「そういえば、卒業式でもパンフレット準備を手伝ってた」
有遊「どうしようもなく仕事が詰まった時は、結奈に手伝って貰ってるんです」
桐「混乱した現場に颯爽と現れては事態を収めて去っていく。遠見ちゃん、一部で派遣委員とか特命委員とか呼ばれてるよね」
月代「なにそれカッコいい！」
桐「月代ちゃんカワイイ！」
有遊「結奈は別名がつくほど有能な人間ってわけだ」
桐「確かにね～」
有遊「本人も暇よりはいいと言っている事だし、これからも頼むつもりです」
月代「結奈さんならイヤならちゃんと断るだろうし自主的な活動参加は良い事よね」
有遊「１年の時に見出していれば、無理矢理にでも委員会に入れましたけどね」
桐（やっぱ、未練あるんだなぁ……）

■ＰＮ=Tagosaku さん
百合霊のお二人へ。部活動するとしたら、何をしてみたいですか？

サチ「放送部かな」
結奈「へー、ちょっと意外」
サチ「時々窓から見てたんだけど、あの機械を動かすのって楽しそう」
恵「はーい！ わたしは色んな部活に入って大活躍したいでーす」
サチ「それも素敵ね！」
恵「弓道部でキリッとしたり、美術部で彫刻やったり、日替わりで楽しんじゃう」

■ＰＮ＝ユリカモメ（仮）さん
放送部の三人が絶叫マシーンに乗った時の反応を見てみたいです。何となくこうだろうと想像はするのですが、逆にそこにはギャップ萌えがあるのでは!? と妄想が止まりません！

音七「つ、疲れた……」
沙紗「そ、そりゃあ、ポッキーくわえたまま３０分もお見合いしてたらな。それで、なに？ 絶叫マシーン？ いつも通り羽美はウルサイ。あと人の腕を掴んで離さない」
羽美「絶叫マシーンで絶叫しないのは礼儀に反するんだよ。で、音七は寝はしないけどいつも通りだよね。なんか遠くを見てる」
音七「あのぶん回される感覚は苦手だけどね～。まあ眺めのいい乗り物は好きかな。沙紗は落ちる系に弱い。普通に叫ぶし」
沙紗「ぜ、絶叫しないのは失礼なんだよ。あと髪も乱れるから面倒くさい」
羽美「その通り！ さらに絶叫して声帯を鍛えることで、羽美ちゃんはエリート放送部員に進化を、ん、なに？ 音七？」
音七「うん。そろそろ締めろってさ～。はい、これ読んで」
羽美「オッケー！ 絶叫で鍛えた喉を見せてやる！」
音七「沙紗はこっち」
沙紗「ん」
音七「では、３・２・１……キュー」
羽美「……一周年のお祝いメッセージありがとうございました。皆様の支えあっての百合霊さん、次なる進展につながるよう努めて参ります。これからも宜しくお願いいたします」
沙紗「さて、会報の大規模リニューアルに伴い九星時報は次回で区切りとなります。投稿は通常通り募集しておりますので、百合霊キャラや世界観に関する質問や妄想、イラストリクエストなどお待ちしております」
羽美「それでは次回！ ……って色々なんですとーっ！」

花魁春秋

吉原の目抜きである仲の町通りの彩りは、桜から藤、そして菖蒲へと変わり、夏の盛りを感じさせるものとなっていく。
「今年はどこの柳を持ってくるかで一刻も話し合いにケリがつかねぇたぁ、暢気なんだか凝り性なんだかなぁ」
「あそこは吉原の顔ですからな。気ぃ入ってらっしゃるのでしょう」
「なんてこたねぇ、てめぇの唾のついた店から仕入れて、見返りたんまりって腹なんだろうさ」
「それも風物ってもんですよ」
仲の町通りの中央は、季節毎と言うには及ばず、月毎、花の見頃に合わせて入れ替わる。近年、園芸は国中で熱を帯びて高まっており、毎年のように新しい草木が生み出され、江戸へと持ち込まれる。賑わいを見せる吉原の目抜き通りは格好のお披露目場所と言うことなのだろう。
「まぁ、客の目を飽きさせず、楽しませてるってんで、こっちとしちゃ願ったりなんだが」
「持ち込む方も買い付ける方も商売人でさぁ。それが職人のやる気をそいでないうちはいいことなんでしょうよ」
「ちがいねぇ。で、うちの女どもはどうした？ 八つも近いってのに、誰も下にせびりにこないじゃねぇか」
嘉門が天井の方へと注意を向ければ、聞き慣れた甲高い騒ぎ声は耳に届いてくる。総ざらえで出かけているわけではないらしいが、育ち盛りの禿たちさえ、この時分に下に降りてこないのも珍しい。
「つい先ほど、荷が届きましてね。ほら、夕べは氷笹が衛門のご隠居に連れられて、市中に歌舞伎見物に出たでしょう。その土産が運ばれてきたんでさぁ」
「ああ、それでか」
ああ見えて面倒見のよい氷笹のこと、どちらが金を出したかは知らぬが、おそらく山のような土産物を買い込んできたのだろう。そして、それを並べて振る舞っているのだろう。浮世絵に貸本、あるいは見聞きしてきた市中の様子、歌舞伎の演目、それさえ女たちには十分な土産になる。おそらく、店が開くまでは皆、氷笹を取り囲んでいろいろとせびり続けることになるのだろう。
塀と堀に閉じ込められた吉原の女たちに、外の世界への未練、憧れを満たすために。それはそれは、ささやかではあることだけど。

※　※　※

江戸時代、日本の園芸は世界でも類を見ないほどの発展を遂げています。桜、梅、椿、躑躅、楓などの現代で当たり前のように目にする樹木の品種改良が進んだのは、江戸の前半期でした。日本を代表する樹木であるソメイヨシノは江戸時代に品種として確立されたと言われています。こちらについては、現代でも品種改良で生まれたのかどうか説がわかれていますが、少なくとも江戸時代の人々の目を楽しませていたのは確かです。

菊については以前も触れましたが、百合、朝顔、福寿草などの草花も園芸品種として育てられていました。変わったところでは、ヒマワリ、トマトなども持ち込まれており、博物書、園芸書に記録が残っています。

盆栽も武士の副業として盛んでした。このように、商売の対象としても園芸は優秀であり、盛んになっていったようです。もちろん、２５０年以上続いた太平の世が背景にあったことは言うまでもありません。

地口でつなげるわけではありませんが、演芸も江戸時代に大きく発展しました。現代で言う古典演芸が完成したのは、江戸時代であることは間違いありません。歌舞伎、人形浄瑠璃が江戸の町衆の間で流行り、伴って文学も発展します。印刷技術の進歩もあって、化政期には黄表紙本が流行します。講談、人情物、伝奇ものなど、様々な物語が仮名交じりの文章で印刷され、町民の間に行き渡ったのです。あわせて、浮世絵も安く大量に印刷され、出回ります。様々な文化が、一部の特権階級から大都市の中心である町民にまで広がり育った時代でした。

江戸時代の風俗、文化については、２５０年以上の長期にわたった時代でもあり、とても一言でまとめられるものではありません。外的変化が乏しく政体の変化がなかった時代ということもあり、日本の近世史は大雑把にまとめられがちですが、風俗、文化だけみても変化に富んだ楽しいものです。興味をもたれたらいろいろと調べてみることをお薦めします。

文交わし（お便りその他のコーナー）

珠琴「今回もたくさんのおたより、ありがとうございまーす！」
氷笹「なに？ まずはこれを読むのかい？『毎回氷笹姐さんは文字でもオーラを放っていて存在感が半端ないです！ だからこその太夫だと思いますが、姐さんの下の禿はちょっと緊張しそう』（カナエ一号さん）」
天音「そ、そんなことないですよね？ 仲いいですよね？」
氷笹「ま、躾はきちんとしてるけどね。だから躾けても聞かない子は嫌いなのさ。誰とは言わないけどね」
珠琴「そんな、あからさまにこっち見なくてもいいのに」
氷笹「『冬の高瀬屋の情景がありありと思い浮かべられる、寒いけどあったかいお話でした。でも足で襖を開けちゃう開けちゃう珠ちゃんは確かにはしたないですね』（かいむなつきさん）」
珠琴「それはお増姐さんにさんざん、怒られたよぅ……」
天音「え、えっと、次のお便り紹介しましょう。『寒い冬の日の和やかな一幕ながら、やはり色々と遊女は大変なのですね。遊女主体の話にあまり触れてこなかったので、豆知識が非常にためになります』（悠季さん）」
氷笹「興味が持てたなら、いろいろ調べてごらん？ 現代と変わらないこと、変わったこと、いっぱいあるからねぇ」
天音「『なるほど、宴会料理（の残り）はスタッフがおいしくいただきましたという訳ですね。一日二食で一汁三菜以下、ということは太る余裕もありませんね……』（ナカさん）」
氷笹「ま、食生活の違いもあって、肥満とはあまり縁がなかったっていうねぇ。ふくよかであることが魅力でもあったみたいだし。このへんは時代のちがいだね」
天音「たくさんのお便り、本当にありがとうございました。お名残惜しいですが、オイランルージュのコーナーは今号をもちまして、終了となります」
珠琴「今まで、本当にありがとう！ これからは、時々、復活することになるのかな？」
氷笹「まぁ、店が逃げるわけじゃないしね。高瀬屋に来てくれればいつでも相手をしてあげるよ」
天音「これからもまた、どこかでみなさんと会えることを楽しみにしております」
珠琴「お手紙は必ず読むから、気が向いたらあたしたちにも文を投げてね！」


おいらんの原画を描かせていただく前に
遊郭ものの映画をいくつか見たんですが
そのうちのひとつの「吉原炎上」がとても
恐ろしい映画でございまして…
遊郭ものって難しいと思います。
いやらしさより生生しさが先に立ってしまって…
でもまぁそんな所が良さでもあるので、
それをふまえたりふまえなかったり…と考えながら
描いていたことを思い出しました。
なんだかおいらんコーナーは今回で最後らしいので、
今までありがとございました！

■前回までのあらすじ

祖母に反抗して過去へと戻り、若い頃の祖母を倒そうとするダリアと、ダリアにそそのかされて連れて来られた梅と蝶子。大輪女子大学女雪相撲部の活躍でダリアの夢は塵と消えたが、試合場が炎上し逃げ場がなくなってしまう。侘助、鬼百合、マイの海、三ツ葉黒、雛菊の富士、豆斯波の6人はダリア達と共に一時的に未来へ待避することにしたが、行った先の未来はダリア達がいた未来とはまったく違った世界。謎の荒野に現れた謎の暴走軍団の謎の首領・麗雄張瑠怒（れおぱるど）を倒し、謎の遺跡へと向かうのであった。

■鬼百合乱舞編

「おらおら民子孫！ こっちでいいんだな!?」
「麗雄張瑠怒って四股名で呼んでくださいよ」
「民子の孫のくせに生意気じゃねーか！ うらっ!」
「いたい！ いたい！ 誰かこの人どうにかしてくださいよ!」
「あたしたちの時代の人じゃないからなぁ。侘助さんに任せました!」
「ええ!? あたしにも無理だって!」

うん。そう。みんなで車に麗雄張瑠怒に運転させてたんだけど、三ツ葉黒さんったら遠慮なしにバシバシ叩いてさ。そのたびに車がフラフラして危なかったんだってば。

「しっかしなんもねーなー。ここホントに東京なのかよ」
「高尾山も富士山も見えませんよね、見渡す限り真っ平らで」
「全部、核ミサイルで吹っ飛んじゃったんですよ」
「……それほど威力のある核ミサイルは存在しないと思います」
「マイさん、それ本当ですか?」
「ええ。いくら戦略核を用いても富士山を消すのは無理です」
「梅、ホント?」
「富士山を消すのは無理ね」
「あ。なーなー。デビット・カッパーフィールドなら消せるんじゃね?」
「あれ手品じゃないですか! 物理的に消してる訳じゃないですよ!」
「うっせーなー」
「ぎゃん! な、なんであたし叩かれたんですか!?」
「愛じゃないっスか?」
「そんな愛いらないー」
「……蝶子ぉ、おなかすいたぁ」
「確かに腹へってきたな。なー民子孫ー。なんか食いモンねーの?」
「ハンバーガーがありますよ。後ろの箱の中に」
「マジ!? あれか! 雛菊、取ってくれ!」
「は、はい。……これですか?」
「……グーテンバーガー?」
「とっておきのご馳走です」
「っざけんなバカ野郎! どこの世界でグーテンバーガーがご馳走なんだよ! モス出せよ! バーキン出せよ!」
「いたい! いたい! 本当なんですってば! いたい! だ、誰か助けてくださいよ!!」
「いらないなら私がもらおう」
「はい! どうぞ鬼百合関!」
「あっ! ちょっと待て、雛菊! いらないなんていってねーって! こっち寄こせ!」
「え……と……鬼百合関、どうぞ」
「裏切り者ー!」
「あうう、蝶子もハンバーガー食べたい……」
「雛菊、蝶子に渡してやれ」
「ありがとですぅ♪」
「ああ……一口で食べやがった……おい民子孫。他にはねーのか?」
「もうすぐ町に着きますから、それまで我慢してください」

『もうすぐ』って言われてから2時間くらい荒野が続いたんだよね。道がないから車もガタガタ揺れてさ、みんな気分悪くなってグッタリしちゃって。

「うっ! うぷっ!」
「バカ! 吐くなら外に吐け!」
「えろえろえろえーー」
「意地汚く食うからバチが当たりやがったんだ」
「じ、自分も気分悪いっス」
「吐くなら外なー」
「麗雄張瑠怒、町はまだなのか?」
「そろそろ見えてくるはずなんですが……あ、あれです! ほらあれ!」
「ん……ピラミッド?」
「あのピラミッドが都庁舎で、周りが新宿です」
「なんで新宿にピラミッドがあんだよ! そもそも2、3時間も走り続けて荒野しか見えないって、もうゼッテー関東平野じゃねーだろ!」
「元いた場所が大輪女子跡地として、路面の悪さを考えればあながち嘘とも言いきれない」
「いやぁ、これぱっかりは三ツ葉さんに賛成ですよ。だって時速40キロだったとしても真っ直ぐ走ってたわけですし、100キロ近くは進んでるはずですよ? それでやっと新宿なんて……真っ平らな地面ばっかでしたし……」
「ふむ。確かに。……行けば分かる、か」

本当にピラミッドが都庁だったとして……中野……や、大久保辺りくらいまで近づいたときかな?
……鬼が現れたのは。

「ん? ……小百合。この先で、なんか二人立ってるぞ?」
「やった……助かった……これで開放される……」
「麗雄張瑠怒の仲間ということか」
「あんたたちもちょっとは女雪相撲ができるらしいけど、あの二人にかかったらアッーという間に終わりよ」
「あの二人……って、佐萌道じゃねーか!」
「あ。ホントだ。サモちゃんだ」
「え!? おい小百合! もう一人は百合根ちゃんじゃね!?」
「……のようだな」
「失礼な事をいうな! あのお二人は——」

「あたしはWWSSA認定横綱、鬼百合っ!」
「そしてワシがWWSSC認定横綱、鬼百合ダス!」
「何いってんだよ! 百合根ちゃんと佐萌道だろ!? それにWWなんとかって何だよ!?」
「うるさいダスよ、裏切り者め」
「裏切り者!? アタシがいつ裏切ったんだよ!」
「あなたはお姉ちゃんを裏切った。……絶

対に忘れない」
「私が瑞樹に裏切られたのか？ 二人共、詳しく聞かせてもらおう」
「…………」
「…………」
「ふん。だんまりか」
「鬼百合関、おかしいですよ。麗雄張瑠怒さんが民子さんの孫とすれば、佐萌道さんがこんなに若いはずはありません」
「道理だな。力尽くでも説明させねばならん」
「説明はワシらの仕事じゃないダス。鬼百合関、侘助さん、先に行くダスよ」
「あたし？」
「残りの有象無象はあたし達が相手してあげるから、かかってきなさい」
「ほう。腹へってイライラしてるアタシらにケンカ売ろうってんだ……小百合、侘助、先に行って飯の支度でもしておきな。すぐに追いつくからさ」
「任せたぞ」

あたしと小百合さんで先に進んだんだけど、みんな大変だったみたいなんだよね。

「……さて佐萌道さん、どうして貴女が『鬼百合』を名乗っているのか、それとどうして鬼百合の四股名を持つ者が二人もいるのか説明していただけますか？」
「世界が変わった……いや、変えたダス。プロ女雪相撲界はWWSSAこと世界女雪相撲協会とWWSSCこと世界女雪相撲評議会に別れ、それぞれが鬼百合を認定するようになったダス」
「それって二人共大学女雪力士じゃないってことだよね？ あたしの世界でも鬼百合の四股名は大学女雪力士だけだったのに」
「だから革命を起こしたの。女雪相撲革命を」
「アタシを裏切り者呼ばわりしたのも、そこら辺が関係してそーだな」
「三ツ葉黒関……そして雛菊の富士関の裏切りはそれだけじゃないダスよ!」
「あたしも、裏切り者?」

でも、あたしたちの方も大変だったんだよ!

「どうした侘助、もうすぐ頂上だぞ」
「む、無理ですぅ……何にも食べないでピラミッド登るなんてありえないですよぅ……」
「気合いが足らんからだ!」
「にゃふん!」
「ふふふふふっ……懐かしい光景だわ」
「誰……だと!?」
「なっ!? なっ!?」
「あたしが大学女雪相撲第20代鬼百合……お久しぶりです、小百合さん。ずっと待っていたせいで大学55年生になっちゃいました」
「なんであたしがもう一人いんの－っ!?」

■次回最終回！ 女雪力士物語

侘助たちの前に現れたのは第20代鬼百合を名乗る若いままの侘助だった!!
一つのピリオドを迎える次回をお楽しみください!



武野紹鴎宅――

楽ちゃんは門前の清掃を終えると自室へ戻り、茶釜で湯を沸かし始める。釜の底で生まれた気泡がゆらゆらと浮き上がっては消えていく。

紹鴎の四十九日法要も終わってからしばらくが過ぎていた。今日のこの日、あと二刻もすれば田中与四郎の下男下女が来てこの邸の新しい管理者となる。楽ちゃんは与四郎の邸と往復する生活をしていたが、嫁として与四郎の家に腰を据える手筈であった。

紹鴎邸を取り壊す予定はないが、戦乱が続けばどうなるか分からない。

茶碗に移した白湯が湯気を薫らせている。

姉の平グモちゃんが見慣れぬかぶり物をして帰ってきた日のことは、まだ幼かったにもかかわらず鮮明に覚えている。

平グモちゃんが初めて嫁いだ日のことも覚えている。じゃじゃ馬で知られた平グモちゃんが花嫁衣装に照れていた。黒いかぶり物はそのままであったが、いま思い出しても華やかで、幼心に憧れたものだ。いつかは自分も花嫁衣装を着たい、できれば平グモちゃんの花嫁衣装を譲り受けたいと思いもした。

ただ相手のことは考えなかった。

無軌道な平グモちゃんですら父紹鴎に従い、見知らぬ相手と一緒になったのだ。自分が誰に嫁ぐかなど考えても仕方がなかった。

（それなのに……）

湯気に一人の男の姿が浮かぶ。目を瞑ると男は鮮明に現れる。

楽ちゃんの笑顔はその男と初めて会った幼い頃と同様、無邪気な笑顔に変わっていた。

紹鴎宅門前――

（どうしたものか）

与四郎は困り顔でしゃがんでいる。足元には下帯もない全裸の男。うつぶせで倒れている。埃にまみれた肌、肉付きの悪い背中に浮き上がる肋骨、やせ細った太もも。どう見ても行き倒れである。

本来ならば放置しておくが、嫁の実家の前で倒れているとなると話は違う。

男の首筋に指を当ててみればまだ脈がある。見殺しにしても誰も与四郎を責めたりはしないが、紹鴎の死からそれほど日も過ぎていない。門前で死なれては縁起が悪い。

（近くの寺にでも連れて行こうか）

寺であれば、いくらか包んで渡しておけば男の面倒もみてくれるであろうし、男が死んでも後処理が楽に済む。

（しかし、ここに倒れていたというのは紹鴎様のお引き合わせではなかろうか）

助けた相手が恩人に忠節を尽くして成功へ導くとはよく聞く話である。同様に恩人を裏切り、銭はおろか命まで奪うという話も少なくない。

与四郎は下男と共に来る手筈であったが、楽ちゃんとの落ち着いた生活が待っていると思うと気が逸り、予定より二刻も早く、しかも一人で来てしまった。不用意に紹鴎宅へ運んでは男が暴れでもしたら楽ちゃんに危険が及びかねない。

（やはり寺へ運ぼう）

見合いの席での賭けには勝利できた。立て続けに勝てる道理もないと、万一の危険を避けようと決めた与四郎。

倒れている男の背に人影が差す。

「これは細川様」

細川藤孝が気配なく立っている。顔に浮かんだ不快感を隠そうともしていない。

「もし。もし」

玄関から響く与四郎の声を聞き、楽ちゃんは普段の笑顔を取り戻す。茶碗を置くとそそくさと玄関へ向かう。

「与四郎さん、お早いおつきで……あら、その御方は？」

与四郎と藤孝に担がれる男。与四郎の羽織を着せられ、藤孝の袴を穿かされている。

「門前に倒れてました。私と細川様で運びますので布団の支度を願います」

「はい、わかりました」

楽ちゃんが奥へと向き直るより早く、藤孝が声を掛ける。

「ご無沙汰しております」

「お久しぶりです」

相変わらずの笑顔だけを残し、楽ちゃんはそそくさと奥の部屋へ消えてしまった。

「細川様、このまま上げてしまいましょう」

「ん……うむ」

「どうかなされましたか？」

「いや。この邸に参るのも久方ぶりと」

藤孝は今、幕臣として流浪の将軍足利義輝と行動を共にしている。三好家を嫌う義輝の手前、その領内にある紹鴎宅に来るのも憚られた。

「細川様もお忙しいですから。明日よりは手前の下男らが住みますので、お気軽にお訪ねいただければと」

「……痛み入る」

と答えたものの藤孝としては、

（もう来る意味もなし）

これが最後になるであろうと考えていた。

まだ意識の戻らない男。楽ちゃんは男が起きた時に備えて粥を炊いている。

与四郎と藤孝は男を挟み向かい合っていた。布を湿らせて男の口に水を含ませる与四郎であったが、

「随分と甲斐甲斐しい真似をしているが、妻にも同様に接してはどうか」

藤孝に言われると、布を盆の上に置いて藤孝へと向き直る。

「なにか誤解なされておりますようで」

「正妻を実家の邸に住まわせたままであったと聞いておる。早くも妾を囲っておるか」

「馬鹿げたことを仰りますな。落ち着くまではと思い、妻のしたいようにさせております」

「商人の言など信じられぬ。況して三好と親しい者であれば尚更の事」

「三好様はみだりに世を乱したりなされませぬ。それだけで商人にとっては神のような御方ともうせましょう」

藤孝の拳に力が入る。

「では将軍家は何と言う。神を越える、天そのものとでも言うか」

「細川様、紹鴎様のお位牌の前で言葉を荒げられまするな」

すでに仏壇と主な仏具は与四郎宅へ運ばれており、部屋に残るのは位牌と香炉とリンだけである。藤孝は位牌に視線を移す。その隙を突き、与四郎は話を続ける。

「将軍様でも三好様でも、世をお鎮めくだされば幸いなのです。商人とはそのような生き物でありますし、多くの民も同じ想いでありましょう」

「然れど」

と反論しようと藤孝の呼吸を読んだ与四郎。

「しばし妻の様子を見て参りますので、こ

こはよろしくお願いいたします」
藤孝の言葉を待たずに起ち上がると部屋から出ていってしまう。
「世が鎮まれば……か」
藤孝の想いは与四郎よりも熱い。
（戦乱が収まっておれば、楽殿をもらい受けるはこの私であったやも）
藤孝と楽ちゃんの出会いは、平グモちゃんが最初の嫁ぎ先から舞い戻ってきた頃にまで遡る。
管領細川家の傍流に養子入りした藤孝はその挨拶として紹鴎に引き合わされた。幼いながらも跡継ぎとして振る舞おうとする藤孝を周囲も引き立ててくれた。ところが平グモちゃんには関係ない。ガキはガキとばかりに容赦なく藤孝をからかい、しまいには泣かせてしまう始末。慰めてくれたのは藤孝よりいくつか年嵩の楽ちゃんであった。
藤孝の初恋である。
その後も紹鴎宅を訪れる度に平グモちゃんに泣かされては楽ちゃんに慰められるの繰り返しであったが、後に将軍となる義輝の近習になると会う機会も少なくなった。
義輝に従って京を落ち延び、朽木で剣術を学び、藤孝も今では一人前の幕臣である。先に義輝が帰京を果たした際、藤孝は紹鴎宅へ訪れていた。
「あの泣き虫が立派な若武者に育ったものだ。もっと早く戻っておれば息子候補に選んでいたであろうに」
相手が平グモちゃんなのか楽ちゃんなのか紹鴎の真意は判らない。しかし将軍家を京から追いやった三好家への恨みが深まったのも事実である。と同時に、将軍家の威光を笠に着て好き放題に軍を動かす者たちへの怒りも湧いた。そして主君義輝に対しても心のざわめきを覚えた。ただしその頃にはもう与四郎と楽ちゃんの婚儀は進んでおり、商家同士の婚儀に横槍を入れて破談にするなど武家のする事ではないとも信じていた。
（楽殿が幸せになれば何よりぞ）
今回、敵地ともいえる堺近くまで訪れたのも、楽ちゃんに会えれば嬉しいという想いはあったが、それよりも紹鴎の弔いの為である。
（今更どうこう言う気はないが、もし楽殿が泣くようなことがあれば……田中与四郎、ただでは済まさぬ）

男が意識を取り戻したのは日が西に傾いた頃であった。枕元に置かれた椀には、まだ重湯が半分程残っている。与四郎は何度かに分け、重湯を口に含ませてやっていた。楽ちゃんが代わるといっても任せなかったのは藤孝への手前もあるからだ。
藤孝も自分と同じく、楽ちゃんを慕う身であると気づいていた。ただし眼前に立ちはだかる相手が違う。藤孝の目の前にいるのは夫である与四郎であるが、与四郎の前にいるのは松永久秀なのだ。
（……守らなければ）
結婚した今でも楽ちゃんが久秀を慕っているのは、誰よりも側におり、誰よりも注意深く見ている与四郎には分かっていた。
それだけに無理に振り向かせたくはない。楽ちゃんが好きな相手と添い遂げ、幸せになるのが最善だと信じている。もちろんそれが自分であるに越した事は無いが、たとえ与四郎自身でなくとも、楽ちゃんの納得する日が来るまで守るのが自分の務めだと。
（久秀さんが迎えてくれれば全て丸く収まるのですが）
恨みもするが、見合いの席でその姉に求婚した程である。久秀が平グモちゃんへ寄せる想いが生半でないのは分かっている。
（今更どうこう申しあげる気はありませんが、何とかならないものか）
そう思いながらも、今は藤孝が悔いを残さないように立派な夫を演じなければならない与四郎である。
「お身体はいかがですか？」
与四郎の問いに男は問い返す。
「ここは……」
「ご安心ください。武野紹鴎様の邸です。あなたを害する者はおりません」
「なぜ……拙者をお助け……くだされた。……あのまま、死ねれば……良かったのに」
「ふん」と鼻で笑い飛ばしたのは藤孝。
「寝ていた時は重湯を喰らい、起きた途端に死にたいと言うか。見たところ武家と察するが、理由を話せば刀を貸して切腹させてやらぬでもない」
男は口をつぐんだまま藤孝を見上げている。
不意に楽ちゃんが椀の載った盆へと手を伸ばす。

「切腹するにしてももう少し元気にならないといけませんよね。また重湯の支度をしてきますから、与四郎さん、あとはお願いしますね」
「任せてください」
と言いながら藤孝へ微笑んで見せる。
「どうぞ手荒な真似はおやめくださいませ」
「戦場でもあるまいし、行き倒れを斬った所で武門の名折れ」
「それは何より。そちらの御方も、ごゆるりと横になっていてください」
男は無言で与四郎から顔を背けた。

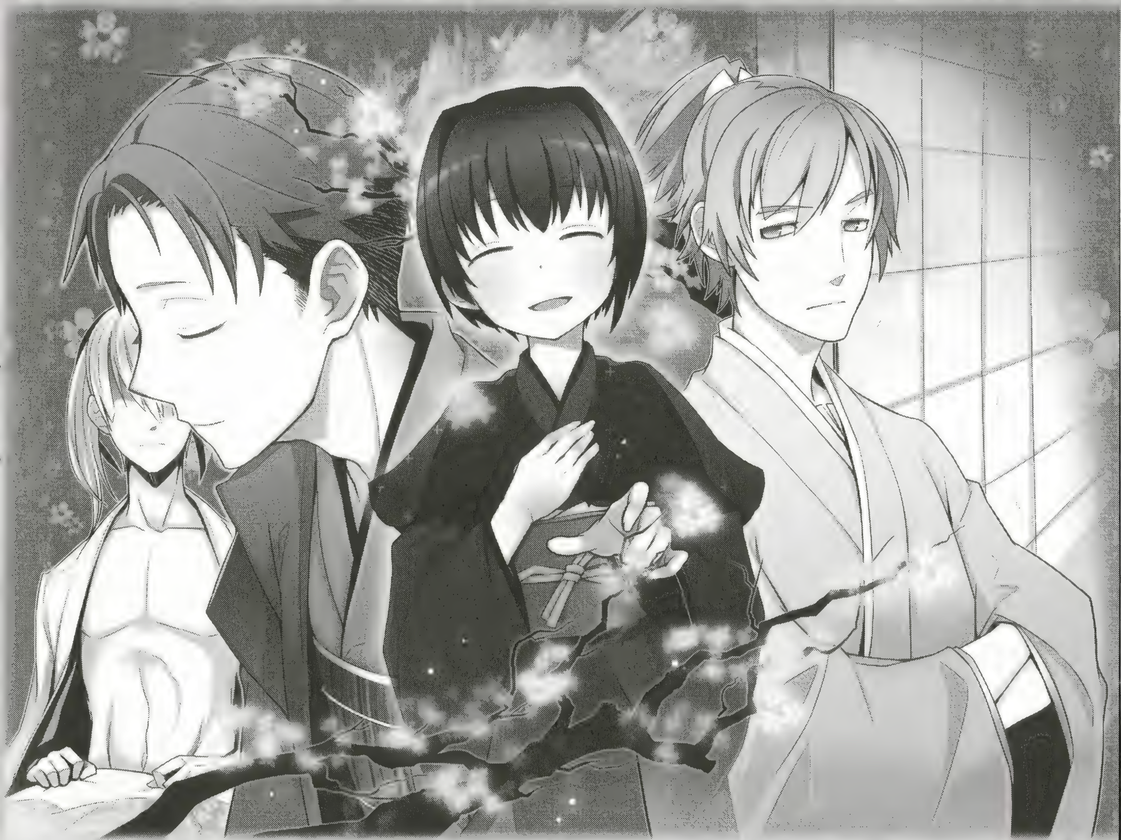
男は若いせいか、あるいは楽ちゃんお手製のお粥のお陰か、夜には上体を起こせる程に回復していた。
「拙者、美濃は明智を治めておりました光秀と申す者」
途端、藤孝は顔をしかめる。
「美濃といえば守護土岐家を逐いやった斎藤の家臣か」
「仰せの通り。斎藤道三に仕えておりました」
懐かしい名前に触れて驚く楽ちゃん。
「まあ、道さんの——」
「道三様をご存じで？」
「それは——」
と与四郎が二人に割って入る。
「後ほどお話しいたしますので、今は明智様のお話をお伺いいたしたく」
「はあ……道三が息、義龍謀反により道三様を支持していた明智一党は美濃を逐われ——」
「下克上などと世の道理に合わぬ事をした者の末路には相応しきかな」
言い切った藤孝であったが、楽ちゃんの顔から笑みが消えているのに気づく。与四郎の顔も険しい。
「幕臣の細川様がそのように仰るのは無論のこと。されど私や妻にとって道さんは見知った仲でありますれば、ご配慮願いたく」
「やはり道三様所縁の方々で——」
身を乗り出した光秀は目まいを起こす。
「まだ無理をしてはいけません。できれば詳しくお聞かせ願えますか？　道さんの最期とあなたのことを」
義龍に追い詰められた道三は娘婿の織田信長が治める尾張へ逃げるのをよしとせず、討ち死に覚悟の一戦に臨み、切腹をして果てたという。

「介錯は拙者が……」
その際、道三は光秀に書状を渡し、京で代官を務める久秀を訪ねるようにと勧めたらしい。
「近江の湖東を通り、越前でしばらく過ごしておりました」
京の情勢を探り、頃合いを見計らっていた光秀。
「京も落ち着き、いざ、と向かったのですが、あの女……」
越前で知り合った女行者が路銀と刀、さらに書状まで持ち去ってしまったのだ。光秀は一縷の望みを託して京へ入ったが、久秀と会うことも叶わず、門前で追い払われてしまった。
暫くは食うや食わずの生活を送りながら久秀と面談する機会を伺っていたが、三条磧で流民に混ざって暮らしている内に自分が武士である事を忘れ始めていると気づき、当座の糧を得ようと堺へ向かう最中、野盗に襲われて身ぐるみ剥がされたのである。
与四郎は何度も肯いた。
「土岐頼次様が召し抱えられて以来、道さんに紹介されたと代官所を訪ねる有象無象が多いと聞いています。松永様も誤解なされたのでしょう。お恨み召されぬよう」
「松永様を恨んではおりませぬ。全ては彼の女……いえ、彼の女に騙された拙者の不徳」
光秀はうな垂れて大粒の涙をこぼす。
「明智様が門前で倒れたのは紹鴎様のお導きだったのですね。実は私の義姉が松永様に嫁いでおりまして、よろしければご紹介いたします。お見受けしたところ明智様は実直なお人柄なので、松永様も快く加えてくださりましょう」
「誠で御座いますか」
まとまりかけた話であったが横槍が入った。楽ちゃんである。
「与四郎さん、ちょっと待ってください。縁というのならこの場にいらっしゃる細川様の方が強い縁ではありませんか？ 魚屋で働いていただくのもよいとは思いますけど、明智様も商家より武家の方がいいでしょうから……不都合がなければこのまま細川様にお仕えしてはいかがです？」
「それは——」
聞かされた三人とも、次の言葉を発するのに間を要した。

与四郎にしてみればいい話である。男として久秀に斡旋する手間を惜しむ気はないが、商人としては面倒が省けるに越した事は無い。
藤孝にとっては迷惑な話である。幕臣としてどこの馬の骨とも分からない浪人を気軽に召し抱える訳にはいかないが、男として楽ちゃんに斡旋されたとなると無碍に断れない。
光秀にいたっては、武士としてまだ素性を知らない藤孝に仕えるのは気が引けるが、一度は行き倒れた身としては仕官先が決まるのであれば贅沢は言ってられない。
「どうですか？」
楽ちゃんに促され、最初に口を開いたのは藤孝である。
「家臣……とはいかぬが、まずは客分として迎えるのであれば」
「それは悪くない話。明智様、いかがです」
「……お世話になります」
（此奴ら、私が決めるまで待っておったか）
藤孝の感じた通りであった。決めるのは藤孝である以上、与四郎は口を挟む気はなかった。光秀にしても士官を強請る真似は沽券に関わる。
（まあ良いか）
藤孝は楽ちゃんの笑顔を見て、自分の決断は間違っていなかったと確信した。
「良かったですね明智様♪」
「これも貴女様のおかげ。有り難う御座いました。このご恩は一生、忘れませぬ」
「あ、全然ぜんぜん♪ お気になさらないでください♪ でも、何かあったときはお助けいただければありがたいかなって、思います♪」

光秀が藤孝に従って朽木へ向かってから長い月日が流れた。
将軍義輝と三好家の和解、久秀の大和信貴山城築城、義輝横死、義輝の弟義昭の越前逃亡、久秀の三好家離脱、織田信長の上洛と久秀の織田家臣従。
目まぐるしい変化の末に、久秀が信長に叛旗を翻し、信貴山城において妻平グモちゃんと共に爆死を遂げる。

丹波国亀山城——
光秀は意を決して襖を開けた。待っているのは笑顔の楽ちゃん唯一人。
「お久しぶりです、明智様。出陣のお支度で忙しい最中に会っていただけてありがとうございます」
機先を制され、光秀は立ったまま頭を下げる。
「ご無沙汰しております。お伝えしなければならぬと判っておりながら、やはりお会いするのが心苦しく」
正直に語った光秀は身体から無駄な力が抜け、
「姉と久秀さんのことですね」
「はい」
答えながら座に進む。
「説得のために信貴山城天守へ上がったのは拙者と羽柴殿、そして信忠様」
「姉はいかがでした？」
「いかが……拙者の頭を膝で蹴りました」
「ふふ。お姉ちゃんらしい。他の方へは？」
「蹴躓いた拍子に拙者に当たったというのが真相でして、被害は拙者のみにて」
淡々と問答を続ける二人であったが、光秀がおもむろに頭を下げた。
「信長様に重用され、坂本城主となれたのも……全ては楽殿のお口添えで細川殿に拾われたおかげ。その恩人の姉と義兄を救えなかったは一身に拙者の不徳」
対して楽ちゃんは首を横に振る。
「明智様に責任はありません。悪いのは、止められなかったお姉ちゃんと……謀反を起こした久秀さんですから」
「申し訳ありません」
「頭をお上げください。このままでは話したいことも話せません」
「他に何か？」
光秀は頭を上げる。
「もし明智様が、姉と久秀さんを追い込んだことを当然だと思っているようでしたらお話ししないつもりでしたが——」
楽ちゃんの顔から笑みが消える。
「明智様、このままでは奥州のさらに遠く、蝦夷にまで飛ばされてしまいますよ」
楽ちゃんは与四郎と共に安土城へ出向いた際、信長から特別に今後の方針を聞かされたという。
（家臣には言えずとも商家には言える事もある、か）
「近江の所領を召し上げられて、これから戦で切り取って領地にするんですよね？」
「その通りにて」
光秀は羽柴秀吉の毛利攻めへの助力を命じられ、山陰を進む予定である。そこで切り取った土地が転封先となるのも



楽ちゃんの言った通りであった。
「毛利の後の九州攻めは羽柴様と、四国攻めを終えた信孝様と丹羽様に任せるそうです」
「……それで拙者が、奥州に？」
「奥州は柴田様と滝川様、それと北条が」
　織田家重臣の柴田勝家と滝川一益。勝家は越後路を進んでおり、一益は北関東に着任して関東平定を任せられている。北条家は織田家に降り、一益と歩調を合わせる予定である。
「拙者は先回りして蝦夷を押さえるというわけですな」
「その先は――」
　西は琉球を経由して呂宋を目指し、東は蝦夷を経由して大陸に進むという。
「織田家は戦のなくなった日本六十余州を治めて、家臣の皆さんは延々と戦い続けることになります」
「其の様な話……」
　光秀は言葉を失い、額に右手を添える。
（信じられない話ではない）
　信長を信じている光秀であるが、信長の思考を理解して従っている訳ではない。むしろ信長がいつ暴走するか判らないまま怯えているのが事実なのだ。
「家臣の皆さんは織田家のお言葉に従うと思います。……本心はどうかわかりませんけど」
「今一度お訊ねしたい。本当に信長様はそう仰ったのですな」
「はい」
　楽ちゃんは笑みを浮かべる。
「ですから姉と久秀さんを救えなかったと悔いる明智様に、真実の全てをお伝えしたんです」

　三日後、織田信長は明智光秀の謀反に遭い京の本能寺にて討ち死に。織田信忠も二条城にて切腹して果てた。
　謀反から十一日後、信長の弔いを掲げる秀吉と光秀が激突し、光秀は敗走の最中に落ち武者狩りの土民に討ち取られた。

　～終わり～





ラブネゴとPPとLLEに探検隊も加わった鬼籍、もとい奇跡の

ろりvs巨乳v

勇気「ども、ラブネゴのヒロイン、岡田勇気です。このページはろり陣営、きょにう陣営、そしてスレンダー陣営に別れて、それぞれの陣営が持つ素晴らしい部分をテーマに沿ってディスカッションしていく、業の深いコーナーです！　ろり陣営はラブネゴの岡田勇気！」
ノブ「巨乳陣営はピンクパンツァーのモコさん。で、スレンダーはあたし、水スベの川野ロノブでお送りします！
　今回のテーマは『戦う女の子』なんですけど」
勇気「その前に重大発表が！　なんとこのコーナー、今回で最終回なんです！」
ノブ「Ｏｈ……」
勇気「リニューアルに伴う終了ってことらしいけど、ホントは事件が起きる前にパージってことじゃないかなぁ」
ノブ「犯人の部屋から出てきそうだもんね……」
勇気「じゃ、時間もないのでさっそく各陣営のお便りを紹介していきたいと思います！」

▼ろり陣営お便り紹介

勇気「最終回ですがいつも通り、解説はこの人、高将太郎さんです」
将太郎「私だ。こうなっては是非もなし。『幼』の旗に殉じる所存。最後までおつきあい願いたい。あ、待てよ『炉』の旗の方がいいのか？　むむ、悩む……」
勇気「やれやれ……」

「ちんまい娘が自分の身長より大きい武器を使ってたら萌えます」
（ＰＮ：なぎまり　さん）

「最早テンプレかと思われますが巨大な武器を振り回すロリはいいものですね！
**　大剣や鈍器、はたまたゴッテゴテの銃火器等もロリっ子の可憐さを引き立てる素晴らしいギャップ萌えアイテムだと思われます」**
（ＰＮ：かいむなつき　さん）

将太郎「その通り！　巨大な武器は幼女が持って初めて生きる！　幼女自衛隊の設立が急がれるな！」
勇気「ど、どうかな……」

「ろりっ娘の小さな戦い、それは病院のお医者さんですね！
**　注射と薬はろりっ娘の大敵。**
**　控え目にいやいやをする娘も、泣き叫んで嫌がる娘も、仕事なのでお医者さんは心を鬼にして診察の為に服を脱がします。逆に考えればお医者さんになればそれが可能！」**
（ＰＮ：カナエー号　さん）

将太郎「うむ、よくぞそこに気がついた！
　私も君と同じ崇高な理由で、小児科医を目指したことがあったのだよ。だが、偏差値はそれを許してくれなかった……」
勇気「いやいやいや、あんたみたいのが医者になっちゃダメだって！　ならなくてよかったよ、詰め込み教育万歳！」

「『取り敢えず、「この戦いが終わればお兄ちゃんと結婚するのよ！」とフラグ臭が漂う、ろりっ娘が戦うゲームは製作予定なんですよね？』」
（ＰＮ：ふ～ちゃん　さん）

将太郎「ぷちネゴシエイターなら、もちろん制作に向けて着々と準備が進められているところだ」
勇気「アレって登場人物全員幼稚園児だよね。絶対無理だと思う……」

「好きな男の子の隣を取り合う！傍からはほのぼの、当人たちは必死、でもやっぱり見ててほのぼのなのがいいですね」（ＰＮ：みぐら　さん）

将太郎「はじめはほのぼのでも、決着をつけなければならない時が来てだな……　気まぐれなオレンジロードがあの日にかえりたいなんてことに……」
勇気「あれ、泣いてる？」

「ロリ＋魔法使いの組み合わせは鉄板ですね」（ＰＮ：赤べこ　さん）

「ロリ高位魔術師とかいいですね。
**　魔術の才能無い人を見下してたりしてロリだけど高圧的、高圧ロリ！**
**　時折子供らしい面も見せちゃったりしたあと逆切れしたりして」**
（ＰＮ：竜宮　さん）

将太郎「うむ。魔法使いだと、老成ロリという選択肢もあるな」
勇気「いや、そんな単語を当たり前のように使われても……　外見は子供だけど、中身は大人って事？　どっかの探偵みたいだね」
将太郎「ああいうのとは違う！」

　というわけで、ろり陣営公認絵師のみゅらっち先生に、イラストを描いていただきましたー。

勇気「って、ちょっと栄太なにやってんの！」
将太郎「まったくだ！　なんてうらやましい――　そしてなんだこの幼女どもは！」
早苗「つ……　ついにイラストまで進出しました！　ＬＬＥのヒロイン伊吹早苗と！」若葉「あ、鈴谷若葉と」弥生「橿原弥生よ」早苗「って、改行なしでまとめられてる？　扱いひどくない？　そもそもラブネゴはみゅらっち先生じゃなくてアンボイナなんとかって人なんだから、こっちが出るのが正しいのに！」
将太郎「なるほど、話は分かった。では私が受け止めてあげよう！　君達の全てを！　さあ一緒にお風呂に入ろう！」
ＬＬＥズ「ぎゃー」

勇気「あ、行っちゃった……　では最後にみゅらっち先生のコメントを」

『毎回ロリコンの天野氏に変質的な絵を強制されて泣きながら描き続けました。やっと解放されます』

勇気「そうだったんだぁ。すごいノリノリで描いてたのになぁ」

vsスレンダー

▼スレンダー陣営お便り紹介

ノブ「ついに最終回かー　あたしら途中参加だったけど、あっというまだったね」
弘「今まで続いてた方が不思議だよ。残りのふたつがアレすぎるし」
ノブ「そうかなぁ。それじゃ、早速お便り紹介していきましょう」

「スレンダーさんの敵はやっぱり脂肪！
脂肪に打ち勝つために日々涙ぐましい努力を重ねた結果、あのすらりとしたラインが出来上がるのです。でも少数派で、胸に少しだけ脂肪欲しい派がいてもまた良」
（PN：カナエ一号　さん）

弘「ダイエット戦士……　でも戦いすぎな子も多いと思うんだよね。個人的にはちょっとぽっちゃりしてる方がいいんだけどなー」
ノブ「電算室のPCで、麻生みくの動画見てニヤニヤしてたヤツの好みなんか聞いたってしょうがないと思うけどねー」
弘「あ、あれはノブが入れたんじゃないか！　もうカレー食べられないよ！」
ノブ「あんまやり過ぎると倒れちゃうから狂戦死にならない程度にね」
弘「スルーしないでよ！」

「スレンダーさんは当たり判定小さいから回避高いですね。
激しい動きにも対応するスレンダーさんは踊り子がベスト！
あ、武器は鞭でお願いします」
（PN：グアゼ　さん）

ノブ「鞭かー。鞭だとヒロが僕をぶってくれってうるさいからなぁ」
弘「そんなこと言ってない！」

「男装して兵士として参戦して、ふとしたきっかけに、お前、女だったのか！？　となってロマンスですよ！」
（PN：竜宮　さん）

弘「戦ってるときに、服が破れたりしてばれちゃったりって、良くあるよね」
ノブ「そういえばマンガのそういうシーンばっかり切り抜いて保存してたよね……　動画も名場面集とか言ってそんなシーン集めてたし」
弘「な、なぜそれを！　いや、違う！
アレは研究のためだよ！　いつか探検に役立てようと……　性癖とは関係ないんだ！」

「スレンダーさんならば騎士様などはいかがでしょうか。
日々鍛錬に勤しみ己の肉体を鍛えるスレンダーさんはさぞ身が引き締まって美しい体のラインをしておられるのでしょう。
個人的には甲冑や装備を着込みパッと見の外見からは体型が伺えないくらいの方が好みなんですけどね（笑）」
（PN：かいむなつき　さん）

ノブ「あたしは魔界村みたいな鎧がいいなぁ」
弘「一撃で壊れちゃうのはどうかなぁ……」

「スレンダーな戦う女の子というと、宇宙でのGに対応するため、世代を重ねることで自然とスレンダーになっていったという妄想がよぎる。宇宙という過酷な状況下では一切の余分は許されないのです。脂肪とか。宇宙服で肌の露出はないのだけど、その分ピッタリとしていて、スレンダーでありながらも女の子の体のラインがクッキリと出ていて、エロいです」
（PN：トリスメギストス　さん）

ノブ「SFだ！」
弘「科学的にそうなってるなら仕方ないね」

「アバラが折れちゃいそうで怖いです」
（PN：みぐら　さん）

ノブ「鍛えてれば大丈夫！」
弘「アバラなんてどうやって鍛えるんだよ……」
ノブ「空手家はビール瓶で臑を鍛えるってカラテ馬鹿一代に書いてたよ。アバラもきっと一緒じゃないかな！　えいっ！」（鈍い打撃音）
弘（悶絶中）

「戦う女の子と言えば、参謀は眼鏡でスレンダー体型でお願いします」
（PN：ふ〜ちゃん　さん）

ノブ「円とか似合いそうだよねー。というわけで、最後のイラストはこんな感じで！」
弘「！！」

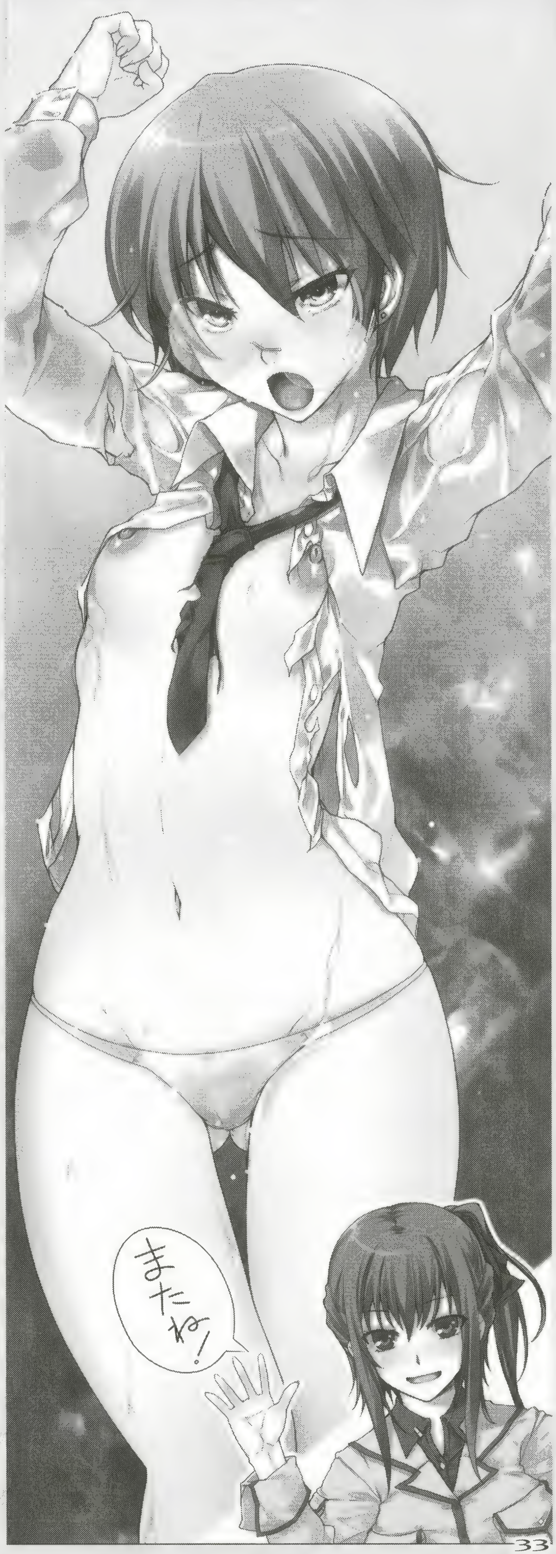
スレンダー陣営公認絵師の東麻姫先生に、イラストを描いていただきましたー。
東麻姫先生のコメントです。

『ラストとのことで水スペのスレンダー担当・円さんを描いてみました。
巻き込まれ式に色んな目に逢う子なのできっと今も服を溶かされたりなんだりしているのではないかと！
ではまた、機会が御座いましたらお会いしましょう〜ﾉｼ』

弘「最後まで不幸な人だぁ……」

▼きょにう陣営お便り紹介

モコ「戦車ブームが吹き荒れてる今こそ、我がピンク小隊の存在をアピールするチャンス！　というわけで、今回の解説はピンク小隊のみなさんに来ていただきました！　わー　ぱちぱちぱち。全員集合するのは……　10年ぶりくらい？」
蘭子「そうだねー　個別ではたまに出たことがあるけど」
比奈「みんなそろうのは久しぶりでありますな！」
沙希「戦車ブーム様々だね！　この勢いに便乗すればピンクパンツァー2も夢じゃないよ！　まずはこのコーナーでガツンとアピールして――」
留美子「え、でも今回最終回ですよね……」
比奈「おお！　戦車道編ですな！　自分の軍人口調も認知されてきたようで





るかも!」
留美子「いや、だから最終回……」
沙希「そうだね! 比奈ちゃんがそういう事にはならないと思うけど、でも頑張ってアピールしていこう!」
一同「おー!」
留美子「ううう……」

「戦車モノが流行っているそうなので、ビンゴなPP組はアピールアピール! 戦いは教育だ!」
(PN:カナエ一号 さん)

モコ「ほら、ここでも言われてますが時代は戦車のようですよ! ではこれについて、沙希さん、なにか一言!」
沙希「え、いきなり私!? ピンク小隊でも教育は充実してたから、戦車道との相性もいいんじゃないかなー」
モコ「あれを教育って言い張るなんて、ずいぶん調教進んでますねー」
沙希「え、ち、違うよ! 命令だから仕方なくだよ!」

「巨乳をいかして、種目の頭に何でもおっぱいをつければ成立しちゃいそうですね。おっぱいバレーのように…!」
(PN:みぐら さん)

比奈「自分も頭に おっぱい をつければ、皆さんのような巨乳キャラというわけでありますな!」
モコ「おっぱい衛生兵…… た、頼りにならなさそう……」

「戦う巨乳さんは少々ぽっちゃりさんな後衛の職業がいいと思います。
ちょっぴりドジっ子でメガネっ娘で、でも頑張り屋さんな魔法使いなどいかがですか?どうですか? 使い魔にいじめられるくらい気弱な感じでもオッケーです!!(興奮)」
(PN:かいむなつき さん)

モコ「後衛ですかー。うちの整備兵は全然気弱じゃないですけどね…… ある意味ではドジッ子ですけど」
蘭子「整備はカンでやるから、よく間違えるんだよねー」
モコ「だからあたしをレンチで叩くのやめてください!」

「巨乳な軍人さんとか、いいよね。軍服という色気を感じさせる服装ではないながらも、巨乳過ぎることで服の下から大きくせり上げて女であることを主張するその様最高です。個人的には戦場で男女の差のなくなってしまっただらしない女性姿とかより、規律ある高級将官とかのキリッとした感じが好きです。勿論敗戦の折には敵兵に凌辱されてしまうのです。高級将官が前線に出てくる事は少なそうですが、そこは厄介払いの左遷という事で。味方の反乱による凌辱も熱い……」
(PN:トリスメギストス さん)

モコ「じゃあ巨乳高級軍人と言うことで特別ゲスト、東雲中佐です!」

は分かるが、凌辱はどうかと思うぞ。むしろ権力をかさに屈辱的な命令を下すというのがいいのではないかな?」
モコ「真顔で応えた!? そういえば東雲中佐のイベントってそんなのばっかりでしたね……」
東雲「屈する悦びもあるのだと言うことを覚えておきたまえ」

「戦場に吹き荒れる風で、童顔巨乳チアリーダーの子の後ろ髪がなびく光景に、心がビビっと来ている今日この頃。流石はジャパニメーションの国よ!(ありがとうございます)」
(PN:セトの教授 さん)

モコ「ジャパニメーションかー。うまくすればあたし達もガルパンみたいになれるんでしょうか……」
比奈「パンツァー名乗ったのはこっちの方が先であります! むしろならない方がおかしいでありますよ!」
沙希「だよね! そのためにも、まずはこのコーナーを足がかりに、あたしたちの存在をアピールして――」
留美子「あ、あの!」
蘭子「あっ、るみるみ、いたんだ。な、なに?」
留美子「このコーナー、今回で最終回なんです!」
一同「!!」

きょにう陣営公認絵師のせんばた楼先生に、イラストを描いていただきましたー。せんばた楼先生のコメントです。

『今回でこちらのコーナーでの私のカットは最終回になります。
長い間お付き合いいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。
最後に一言だけ
実はそんなに巨乳好きと言う訳では無いンデスヨ僕(・∀・)
ラストでの衝撃の裏切り展開(笑)
僕こそが正真正銘のライアー(嘘つき)だったは』

沙希「ひ、ひどいや……」
モコ「これからだと思ってたんですけどね……」

■最後の挨拶

モコ「うう…… というわけで、『ろりvsきょにうvsスレンダー』コーナーは今回でおしまいです」
勇気「最後まで逮捕者が出なくてほんとに良かったねー」
ノブ「これ以上は危ないって判断なのかもね」
勇気「否定できない……」
モコ「みなさん、長い間ありがとうございました」
勇気「ご縁がありましたらまたお会いしましょう」
一同「それじゃ、またねー」

LETTER AND POINTS
おたよりコーナー

○行殺新選組

『今年の大河「八重の桜」では重要人物として容保公も出てらっしゃいますね。久々におまちちゃんの大河ウォッチングが聞きたいですねえ』（1087・アンドリュー）**1+3p**

「今年は時代劇ホームドラマのターン！　といっても、ちょっとネタが地味すぎて盛り上がらない感じ。新選組では斎藤さん推しみたいだけど、出番はこれからって感じかな？

　最近の大河は内容そのものに個性が感じられないとこがちょっと残念。もっと、そのドラマの燃えと萌えを感じさせてほしいよねー。……とのことです」【睦月】

○蒼天のセレナリア

『わーいコスプレだー！　ガイドの方でグランディアに触れられていたのを思い出しニッコリです。コニーさんはこういうちょっと子供っぽいアクティブな服も似合うんですね。シェラもちょっとお嬢様っぽい印象でかわいいーー！！　そしてカルくん…！カルくん…！！　配役に問題はないと思われます、おへそがとってもキュート&セクシー！』（2603・かいむなつき）**1+3p**

「前回へのご感想ありがとうございます。やっぱりグランディアの冒険譚はわたしの胸に残っているのでした…似合いますね、みんな！　そう…カル君も…」【桜井】

『グランディア…直球すぎる！！！！　そして、カルくんアーッ!!』（2595・サハラ）**1+3p**

「フフフ直球もいいものですよね。カル君…カル君やっぱり注目度高い…！」【桜井】

『グランディア！　す、すごくなじんでます。カルベルティもこれはこれで……！　個人的にはツボっぽい桜井さんのコメントが是非聞きたいです！』（0674・カナエー号）**1+3p**

「ツボ中のツボです！　なぜならわたしのど真ん中に今もグランディアはいるからです…きっと、ずっといるのだと思います…。カル君のこの姿もずっと残るに違いありません…」【桜井】

○漆黒のシャルノス

『他のスチパンシリーズでもちょくちょくありますが、こういうダークな雰囲気はシャルノスが一番似合う気がしますね。それにしてもいろいろと隠されている事情が多くて、その引き出しの多さに吃驚です』（3192・トリスメギストス）**(1+3p)**

「世界であるからには、スチパンシリーズの世界には明るさも暗さもあって…《結社》の人々はその暗さを象徴する存在でもあります。エージェント・クロウリーが今後どこで出てくるか、どうかお楽しみに」【桜井】

『クロウリーさん仕事してるなー、と、そして誓約者が予想以上に恐ろしい』（3680・竜宮）**1+3p**

「誓約者の存在は、現代のわたしたちの認識でいうと戦車や戦闘機の破壊力を有した存在です。スチパン世界的には機動要塞一基に相当する的な…」【桜井】

『ファネルさんの本編とはまた違った一面がみれて良かったです。彼女の素顔が気になりますがこのままヴェールに包まれていてもいいと思います』（3732・なぎまり）**1+3p**

「素顔、桜井も気になります…でもそう、ヴェールに包まれていてこそとも思うので悩ましいですね…」【桜井】

★画像投稿

『先日シャルノスをクリアしました。Mメアリ…。ああ、もうこのふたり、本当にときめく…。大好き…。webノベルもふたりに終始きゅんきゅんしっぱなしでした』（4299・しみち）**1+5p**



「可愛いふたりの姿をありがとうございます。かわいい、かわいい…！」【桜井】

○どすこい！女雪相撲

『女雪相撲が愛が空から落ちてきた世界観に！　滅茶苦茶ですけどあまり違和感がないのがさすがというかなんというか。そんな世界でも

変わらずお強い三つ葉さんとマイさんかっこいい！！　特にマイさんの麗雄なんとかさん（略）への無双っぷりが頼もしくも恐ろしい…。』（2603・かいむなつき）**1+3p**
「私は佐萌道と百合根の人気が恐ろしいです。どうして同着１位になれたのか……」【岩清水】

○紫影のソナーニル

『リリィの「ごめにゃさい」にやられました。こんなこと言われたらなんでも許しちゃう…！　可愛すぎて悶えました』（2995・あかべこ）**1+3p**
「最近リリィ年齢が下がってる気がする問題は桜井とAKIRAさんの間でもよく話される事柄です。こ、これ以上下がっちゃだめだよリリィ…！」【桜井】

『夢歩きをするリリィが大好きです。あああ、リリィちゃま、よくぞここまで成長して、となんだか保護者モードになっちゃいます。リリィ、やっぱり可愛いなあ。スチパン主人公イチ幼くて、噛んじゃうところとか、あまりの可愛さにときめきました。ちゃんとしようと奮闘するところも。最後にはお子ちゃま扱いされちゃったけどね！　PSP版ソナーニルもとても楽しみです。カスタマーテーマがあったらなあ、とほんわか思う日々です。PSPをソナーニル色に染めたい、ボディカラーも紫にしてしまいたいです！』（3084・ニコ）**1+3p**
「リリィは着実に『皆さまの力で』成長していっています…ありがとうございますっ。ふむふむカスタマーテーマ…検討させていただきますね。そう、カスタマー…」【桜井】

『ＰＳＰ開発おめでとうございます！　これでいつでもどこでもソナーニルが遊べますね♪　楽しみに待っています』（3640・悠季）**1+3p**
「ありがとうございます！　そろそろ、情報が逐次公開されていくはずですのでお待ちくださいませ！」【桜井】

○平グモちゃん

★グッズ投稿
『月刊うそ43号のノブリン小説と、巻末の４コマ素敵でした！　平グモちゃんから戦国時代の小説やゲームにも嵌り、色んな逸話を知って再プレイすると楽しさ倍増です。外伝小説やＦＣがとても欲しいです！』（4316・iruse）**1+5p**

※iruse様には『平グモちゃん』信長＆光秀キーホルダーも送っていただきました！



表と裏でノブリンのツンとデレが楽しめる、とても可愛らしいキーホルダーです。個人的に製作されたグッズで、頒布の予定はないとのこと。残念！

「太閤立志伝５はお勧めです！　松永久秀プレイが出来るようになるまで面倒ですが、結婚システムがあるのでオリジナルキャラで平グモちゃんを作れば一緒に落雁食べられますよ！（落雁は自作しましょう。価値２魅力＋１くらい）」【岩清水】
「素敵なグッズにメッセージ本当にありがとうございます！　かわわっノブリンとミッチーのやりとりが目に浮かぶようです！
大切にいたしますー！」【Ｌｅｍ】

『ノブリンの父上様が息子想いでかっこいいですね。ノブリン編とのことですが今後ヒロインたちも出てきますよね（笑）男だらけでも楽しいですが！』（3732・なぎまり）**1+3p**
「こ、今回はヒロイン出ましたよ！　楽ちゃん可愛い。男だらけなんてとんでもないですよ！　楽ちゃん可愛い」【岩清水】

『ノブリンルート待ってました！平手政秀がしぶくて素敵でした。帰蝶さんが登場してくれると嬉しいですー！（きっと道さん似だろうなあ、と）』（2602・いずは）**1+3p**
「若い頃の平手さんはノブリンパパの指導しながら片腕として暴れ回っていたはず！
楽ちゃん可愛い。それと登場する機会はありませんでしたが帰蝶さんはきっと父君の血を継いでメガネっ娘です。楽ちゃん可愛い」【岩清水】
「帰蝶さんはそのまんま道さんが女性になった感じの赤毛さんで、ノブリンを膝枕してくれますきっと」【Ｌｅｍ】

○黄雷のガクトゥーン

『学園七不思議、虚実取り混ぜた感じが真に迫っていて興味深いです。

（全部真実だったり……？）エキセントリックなメイリンさんはなかなか楽しそうな方ですね。盗聴器の類は解除している、と宣言している横にブラウン・ジェンキンがこっそりいるのが笑えました。続きが楽しみです！』（2635・ナカ）1+3p
「七不思議、どこまで本当かどこまで嘘か…真実を知る者はいます…（リドリー・スコット風に）　メイリンはじめ委員長クラスは個性的な人物ばかりなので、出していければと思います。そしてジェンキンに気付かれた…！」【桜井】

『ガクトゥーン、プレイし終わりました！！　すごく面白かった！　寝る間を惜しんでプレイしました！
どのキャラクターも魅力たっぷりでしたが､やっぱり一番は……ネオン、かわいいよ、ネオン』（2835・あにき）1+3p
「ありがとうございます！　スチパンシリーズ新作ガクトゥーン、ご好評いただけたお陰でファンディスク発売決定の運びとなりました。そちらもどうかお楽しみいただけますように！」【桜井】

『こいつ…動くぞ…！？　体験版未プレイだとこうなりました。発売記念(翌日)イベントで言ってた演出を見てくれって言っていたのはこの事かと想像以上に動いていてびっくり！　思わず声がでてしまいました！:』（3354・グアゼ）1+3p
「ライアーソフト史上最大の動き率、お楽しみいただけましたでしょうか。ファンディスクもばんばん動かしますので、お楽しみに！」【桜井】

○星継駅擾乱譚

『智里さんの株価が連日ストップ安を更新中や！』（3680・竜宮）1+3p
『まさか、パッケージ版が出るとは･･･しかも、話増えてる！それはそれとして、今回の会報の小説にあの人が出てるしw相変わらずrailのキャラ同士は親和性がハンパないですね･･･アステライトの世界はまだまだ拡がりそうなので、これからどうなるか楽しみです。』（3789・b）1+3p
「これで智里が手を出していない女性陣は、紅殻町の女性たちだけとなりました。とは言え腰が定まらないあの男の事ですから、紅殻町方面に顔を出すか、どこかに迷いだしてしまった女性たちと遭遇するのも時間の問題かと思われます」【希】

○その他

『灰燼のカルシェール、ページを捲るのが楽しくていつの間にか読み終わってました！BGMの素晴らしさも再認識。面白い仕組みで楽しかったです。そしてスチパンシリーズは話を読み終わった後、改めてサブタイトルを見ると感慨深いです。キリエとジュネのサンクチュアリがどうか美しいものでありますように』（4103・リーカ）1+3p
「ありがとうございます。キリエとジュネの旅、お楽しみいただけたなら何よりの幸いです。サンクチュアリは、きっと…」【桜井】

『花散峪山人考のコーナー、終了なのかお休みなのかアナウンスがなくて心配です；；』（2352・みぐら）1+3p
現在「月刊うそ」は紙面刷新が進められており、その関係で今後は各コーナー、不定期にお休みが入ることも出てくるかと思われますが、正式に終了が述べられたもの以外は継続しております。ちなみに山人考ですが、「希文堂掌編集」に同人発表された京香の一篇が収録されております(ただしガチエロ注意)。【希】

『今回の表紙ですが、投稿するために見直してようやく豆がゼリービーンズだったことに気付きましたごめんなさい。いえあまりにさりげなかったものですから…いつものことながら芸が細かいですね。鬼の面もそれつけてる方々も可愛らしいです！』（2635・ナカ）1+3p
「ありがとうございます！こっそり会報発行時点では発売前だったノベルアンソロネタも入れてました(鬼の面＝簡略化したゾロのマスク)使用したゼリービーンズは豆まき大会運営スタッフが美味しく略」【Ｌｅｍ】

★「月刊うそ。」44号いかがでしたでしょうか。やんばるさんから引き継いで初回、見様見真似の編集作業となりました。至らぬ点は沢山あるとは思いますが、温かい目で見守っていただけると嬉しいです。これからもご意見ご感想など、お気軽に送って下さいね！

★さて、次回45号から「月刊うそ。」は形態を一新し、毎号のテーマに合わせて特集を組む形となります。もうコーナーが終わってしまった作品も、特集記事でひょっこり復活するかも？

★次回テーマは**「学校」**です。なさそうで結構あるライアー作品内の「学校」「学園」に関するおたよりをお待ちしております！

★それでは、お読みいただきましてありがとうございました！



最新ＰＣゲーム

星継駅苑集箱（アステライト　ジュウシュウバコ）

DL版で好評を博した「星継駅擾乱譚（アステライトじょうらんたん）」と新シナリオ「星継駅年代史（アステライトねんだいし）」を収録したレイルソフト新作

過去は永遠に失われず――
現在は不変であり――
未来は待ってはいてくれない――

ＦＣ通販価格：３，８００円

ＦＣ通販特典……冊子「星継駅苑集箱・追補編」

※キャラクター設定ラフの他、
書き下ろし小説「その時、ゼルダクララは」収録

「星継駅擾乱譚」「星継駅年代史」の外伝小説は次ページにて紹介！

黄雷のガクトゥーン

～ What a shining braves ～

ノベルアンソロジー

マルセイユ洋上学園都市における
“５つの異能事件”を紡ぐ短編小説集。

桜井光＆千枚葉／鋼屋ジン＆Lem／森瀬繚＆文倉十／
禾刀郷＆霧生実奈／加納京太＆東麻姫

Ｂ５サイズ　１３２頁
ＦＣ通販価格：１,５００円



ドラマＣＤ

『間違いの悲劇～Tragedy of Errors～』

上演開始を告げるブザー音。
上がっていく緞帳。
そして、舞台上に姿を見せるのは――
――何と、思弁的探偵部部長
ニコラ・テスラ！

ＦＣ通販価格：２,０００円



ライアーソフト＆レイルソフト　ＩＣカードステッカー



- 黄雷のガクトゥーン
- 星継駅苑集箱
- Usoka（ガクトゥーン＆星継駅コラボ ver.）

３柄１セット　通販価格　1,000円

「定期券ＩＣカード」「電子マネー」等に貼って
デザインをお楽しみください。（ＦＣ会員証にも！）
吸着タイプですので、貼って剥がして、
何度でもお使いいただけます。

お取扱い中グッズ

Nitroplus Book **灰燼のカルシェール**
-What a beautiful sanctuary-



著作・桜井光／挿画・ＡＫＩＲＡ　　ＦＣ通販価格　2,500円（税込）

終わった世界。
最後に残ったふたり、でも、命は、ひとつだけ……。

ニトロプラス様と桜井光＆ＡＫＩＲＡさんがコラボした完全新作小説！
336Ｐに及ぶ小説＋この本のために"ZIZZ STUDIO"様、"VERTUEUX"様が新規作成した主題歌＋サウンドトラック付き！

●黄雷のガクトゥーン 各種グッズ●



【ガクトゥーンタペストリー】
ジャイアーズム本誌を飾った
千枚葉さんの描き下ろしビジュアルが
タペストリーに！
W720×H520mm
ダブルスエード素材・ビニール封入

ＦＣ通販価格 3,500円（税込）

※タペストリーは形状の都合上他のグッズとは別送になり、別途送料がかかります。ご了承ください。



応援イラストを用いた
ガクトゥーン2013年カレンダー。

※誠に申し訳ありませんが、暦の抜けが発見された為、シールで修正して販売しております。

【ガクトゥーン応援イラストカレンダー】
通販価格 1,000円（税込） メール便対応



【ガクトゥーンフリース膝掛け】
作品中の印象的なビジュアルを
フワフワ暖かいフリース素材の
膝掛けにしました！
W730×H520mm
印刷面:AJスムース（フルカラー）
裏面:フリース(グレー)
ビニール封入

通販価格 3,000円（税込）



主要キャラクターと
ポスタービジュアルを用いた
2枚組クリアファイルセット。

【ガクトゥーンクリアファイルセット】
通販価格 500円（税込） メール便対応

●レイル文庫 星継駅（アステライト）シリーズ●



著作・希／挿画・浦辺克斗

ＰＣゲーム「星継駅蒐集箱」収録の
「星継駅擾乱譚」「星継駅年代史」
それぞれの書き下ろし外伝小説。
「駅」を舞台にした奇人たちによる
喜劇悲劇に白昼夢。読み応えある
希ワールドをご堪能ください。

「星継駅擾乱譚」「星継駅年代史」各500円　メール便対応

●月刊うそバックナンバー●



現在在庫があるのは、第11～13、
16～28、30～31、33～35、37～43号です。

各400円　メール便対応

●その他好評発売中グッズ●

・BGMFestival 記念CD「隻眼のティンダロス」	¥2,000
・隻眼のティンダロスＴシャツ	¥2,000
・Liar&raiL Poster Art Collection	¥1,500
⊗The Rough Guide of STEAMPUNK WORLD	¥1,000
⊗スチームパンク5周年記念冊子 memorial book	¥1,000
⊗Steampunk Full-voice Fandisk ※ＦＣ通販特典ペーパー付き	¥3,000
⊗ドラマCD・Steampunk Quintet	¥2,000
⊗ライアー・レイルボーカルＣＤ「salute！」	¥3,000
⊗スチームパンク5周年記念CD「ricordo」 ※初回特典ＣＤ付き（なくなり次第終了）	¥2,500
・蒼天のセレナリアファンブック	¥1,800
⊗ライブ記念マイクロファイバータオル	¥500
⊗「サフィズムの舷窓」アレンジ曲集CD「AIGRETTE」	¥2,000
⊗ライアーソフトサウンドトラック「ぶるま」「わらび」「しっぽ」	各¥2,500
サントラ３本セット	¥6,000
※セットでお買い上げの場合、特製CD-BOX付き！（なくなり次第終了）	
⊗「屋上の百合霊さん」グッズセット（クリアファイル＋商科九ツ星女子学園学生名簿）	¥500

⊗ メール便対応
単品注文の場合、メール便(￥300)での発送が可能な商品です。
※「ぶるま」「わらび」「しっぽ」については1本購入の場合のみ。



発売中ゲームソフト

桜井光・スチームパンクシリーズ
２年ぶりの完全新作はシリーズ初の学園もの！

《黄雷のガクトゥーン～What a shining braves～》

洋上に浮かぶ巨大学園都市「マルセイユ洋上学園都市」に現れた転校生、ニコラ・テスラ。
自称７２歳の彼は、学園の頂点に立つ「統治会」への反抗を公然と宣言し、
少女・ネオンを助手にする。

通販価格 初回限定版(※1) 7,800 円 ＤＶＤ-ＲＯＭ専用

- ・初回限定版特典（ソフトに同梱）：フルカラー冊子、「黄雷のガクトゥーン」サウンドトラック
- ・予約特典(※2)(※3)：男の子用……ドラマＣＤ『ある女子たちの会話』、ＰＣシステムボイス付（女性キャラ）
  女の子用……ドラマＣＤ『ある男子たちの会話』、ＰＣシステムボイス付（男性キャラ）
- ・ＦＣ通販特典：本編に追加インストールできるアペンドシナリオＣＤ

※1 現在「初回限定版」をお求めいただけます。ロットアップ後、「通常版」に切り替えます。
※2 予約特典は発売日後も在庫があればおつけしますが、なくなり次第終了いたします。
※3 「男の子用」「女の子用」のどちらかをご指定下さい。

《スチームパンクシリーズ》

(※4)
ＦＣ購入特典：スタッフ同人誌「スチパントリビュート」
FullvioceReBORN シリーズ３作、同一の特典ですので、２本以上お買い上げの場合も１回のご購入につき１冊付属とさせていただきます。

(※5)
ＦＣ購入特典：アペンドシナリオＣＤ「それは、彼女達の幕間」

(※6)
ＦＣ購入特典：アペンドシナリオＣＤ「幾つかの、冴えたやり方」

蒼天のセレナリア Fullvoice ReBORN


通販価格 3,000 円

赫炎のインガノック Fullvoice ReBORN


通販価格 3,000 円

漆黒のシャルノス Fullvoice ReBORN


通販価格 3,000 円

白光のヴァルーシア


通販価格 7,040 円

紫影のソナーニル


通販価格 7,040 円

《ファンディスク》

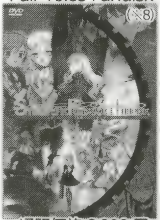
(※7)
ＦＣ購入特典：冊子「月刊うそ。特別号」

(※8)
ＦＣ購入特典：書き下ろしノベルペーパー『西インド会社定期報告書二〇〇三五九号』

＋ＦＣ会員は限定ページから会員専用シナリオをダウンロードできます！

ハチポチ


通販価格 7,040 円

Steampunk Full-voice Fandisk


通販価格 3,000 円

《レイルソフト》

(※9)
ＦＣ購入特典：冊子「信天翁航海録削除部分流出版」

(※10)
購入特典：「花散峪山人考」サウンドトラック（なくなり次第終了）

ＦＣ購入特典：「レイルサウンド・ザ・ベスト」
(「霞外籠逗留記」「紅殻町博物誌」「信天翁航海録」のベストサウンドトラック)

信天翁航海録（アルバトロスこうかいろく）


通販価格 7,040 円

花散峪山人考（はなちるたにさんじんこう）


通販価格 7,040 円

《単発作品》

(※11)
ＦＣ購入特典：アペンドシナリオＣＤ「どすこい！女雪相撲～胸がドキドキ宇宙場所体験～」

(※12)
予約特典：「オイランルージュ福読本」（なくなり次第終了）
ＦＣ購入特典：アペンドシナリオＣＤ「ある大紋日の高瀬屋」

(※13)
購入特典：挿入歌マキシＣＤ「ＡＡ愛！」
ＦＣ購入特典：アペンドシナリオＣＤ「新しくこの学園に来たあなた達に」

(※14)
豪華限定版特典（ソフトに同梱）：フルカラー設定資料集、「平グモちゃん」サウンドトラック
ＦＣ購入特典：平グモちゃんペーパークラフトＣＤ

どすこい！女雪相撲


通販価格 7,040 円

オイランルージュ


通販価格 7,040 円

屋上の百合霊さん


通販価格 7,040 円

平グモちゃん
- 戦国下剋上物語 -


通販価格
豪華限定版：7,840 円
通常版：6,240 円

《その他作品》

- ・ＦＤ3 読参子育成企画……通販価格 2,000 円
  ファンクラブ会員限定販売商品です。現生産数のみで販売終了となります。
- ・妖刀事件……通販価格 7,400 円(特典あり) ／ 6,800 円(特典なし)
  市場販売は終了しました。ＤＬ販売は予定しておりません。
  ＦＣ通販でのみお求めいただけます。
  特典：書き下ろし NETRIDE カード（ＤＬ販売にご利用いただける金券です）
- ・Round a Go! Go!……通販価格 5,400 円

ロットアップ情報
ライアーソフト第 25 弾『水スペ川野口ノブ探検隊』までの作品（『妖刀事件』を除く）、及びレイルソフト第２弾『紅殻町博物誌』までの作品はロットアップしました。現在、追加生産・販売は行っておりません。一部タイトルは弊社ＨＰよりＤＬ販売しております。

ここだけの話
「どうしてもこのソフトが欲しい！」場合は、一応お問い合わせください(駄目元で)。ＦＣ会員様にだけひっそりと利く融通が、あったりなかったり……。

※このページの表示価格は、全て税込の価格です。

通信販売について

【基本的な流れ】
欲しい商品をリストアップ→価格を計算→下記リストから送料を確認して加算
→合計金額をご入金・必須事項を弊社に通知

《お支払い方法》 郵便振替、銀行振込、現金書留、ヤマト便代引がご利用いただけます。

①郵便振替の場合　００１４０－１－６００１８４　加入者名　㈱ビジネスパートナー
※FC会報『月刊うそ』に同封されている振替用紙か、または郵便局置きの「上１桁ゼロの用紙」をご利用ください。
※払込用紙の通信欄に、必須事項（後述）をお書きください。

②銀行振込の場合　みずほ銀行　新宿支店　普通口座５４３１１８１　加入者名　㈱ビジネスパートナー
※入金後、必須事項（後述）を、メール、ＦＡＸ、郵送いずれかの方法で弊社までお送りください。
（その際、振込時の控えのコピーを添付してくださると通販事務を迅速に進めることができます）

③現金書留の場合
※封筒の中に必ず、必須事項（後述）を記した紙を同封してください。

④ヤマト便代引の場合
弊社ホームページの「ＳＨＯＰ」→「ＦＣ会員専用ページ」→「会員専用代引きサイト」の申込フォームよりお申込みください。
その後は、自動確認メール→弊社担当者からの注文受付完了メール→発送という流れになります。
届いた商品と引き替えに、代金をお支払いください。
※自動確認メールが３日以内に届かない場合、フォームが正常に作動していない可能性がございますので、お問い合わせください。

《必須事項》
ご注文内容・会員番号・氏名・住所・ＴＥＬ・メールアドレス（あれば）・配送日時の希望がある場合は曜日・時間帯を必ずお書き添えください！
※送り先は原則、会員登録住所のみとさせていただきます。
それ以外の場所への発送は、特別な理由がない限りお断りいたしますので、ご自宅でお受け取り可能な日付をご指定ください。
送り先を変更される場合は、理由を明記の上、「登録住所以外へ発送希望」など目立つようにお書き添えください。
※必須事項に漏れがあった場合、発送の対応が遅れることがあります。

《宛先》
（メール）fc@liar.co.jp
（ＦＡＸ）03-3355-6736
（郵送）　〒160-0022　東京都新宿区新宿1-25-3 エクセルコート新宿301 株式会社ビジネスパートナー

《送料》
①ヤマト便

下記に該当しない地区	６４０円
関西地区　北東北地区	７４０円
中国地区	８５０円
四国地区	９５０円
北海道　九州地区	１０６０円
沖縄地区	１２６０円

※ヤマト便　到着日時のご指定について※
・希望お届け日
・希望配達時間
（“午前中”“12-14”“14-18”“18-20”“20-21”）
をご指定いただけます。

②メール便
「メール便対応可能」商品を単品でご注文の場合のみご利用いただけます。
送料は３００円となります。
※お届け日時の指定はできません。
※郵送中の事故などによる外装の破損・折れ曲がりなどでの商品の交換には、応じかねる場合がありますので、ご了承ください。
※代引きでのご注文の場合、メール便での発送はご利用いただけません。



投稿者名／グアゼさんのトピックスネタ《統治塔VSシャトーディフ大こいのぼり大会開催！！》採用させていただきました！

ライアースタッフQ&A

第６回「禾刀郷」スクリプター

『禾刀郷さんの名前はなんと読むのでしょうか？』（かいむなつき様）

「のぎ・ふなさと」と読みます。本名をもじったので深い意味はありません。「刀」の字は中国では「ふね」の意もあったとのこと（漢字源）で、この読みをあてました。

『管理業務というのは、具体的にどこまで管理しているのでしょうか？』（アンドリュー様）

正確には管理業務担当ではないのですが（汗）、スクリプターという立場上、全部の素材を受け取らないといけませんので、各部署に対して素材完成期日の確認が必要となります。デバッグ時には、どの素材が実装されていないか、どんな懸案点が残っているかを資料にまとめ、周知したりしています。

『毎回、新作が出る度に最初から組みなおすのですか？』（ふ〜ちゃん様）

各シリーズ用の基礎構文を流用し、必要に応じて改修して使用します。現行ですとスチームパンクとレイルソフトが二大ラインですね。それ以外の企画は新作の仕様に近い過去作を元に組み直すことが多いです。

『スクリプトで一番難しいのはどのようなところでしょうか？』（竜宮様）

ライターさんがイメージして執筆した場面をいかに画面上に再現するかですね。素材的な制約に加え、システム上の制約もありますし。

スペース的な事情で終ー了ー！ 続きはいずれ web で！

※質問をお送りいただいた皆様に 3pt、採用された方に 5pt 差し上げます。

※次回はスチームパンクシリーズでお馴染みのライター、桜井光さんです！ ご応募お待ちしております。

<編集後記>やんばるさんから引き継がれ、色々てんやわんやしながらの編集でございます。ってもうスペース無い!? 次回、「月刊うそリニューアル！（予定）」予定は未定っ !!(しまさらゆめき)

《会員専用ホームページ》

http://www.liar.co.jp/cgi-bin/gate/gate.cgi

※在庫切れ会報のバックナンバー PDF、会報宛て投稿フォーム、壁紙やコミック等ＦＣ限定のコンテンツ多数！

※以下のＩＤとパスワードでお入りください。

ID:member　Pass:uso800

《お便りの宛先》

〒160-0022　東京都新宿区新宿 1-25-3
エクセルコート新宿 301
ＦＡＸ.03-3355-6736　e-mail fc@liar.co.jp

※会員ページの投稿フォームもご利用ください

ライアーソフトファンクラブ会報
『月刊うそ。』 第 44 号
年４回季刊発行　2013 年 5 月 31 日発行
発行：(株) ビジネスパートナー　ライアーソフト
編集：『月刊うそ。』編集チーム
表紙レイアウト：しまさらゆめき
表紙・巻末漫画：Ｌｅｍ
発行：あかつき印刷

twitter アカウント /@liar_railsoft
スタッフブログ /http://blog.livedoor.jp/liar__rail/

ライアーソフトファンクラブ会報『月刊うそ。』
二〇一三年六月一日発行
年四回季刊発行
(株)ビジネスパートナー ライアーソフト

